

田川市民の地域生活における満足度

平成17年度社会調査実習報告書

平成18年3月

茂木 豊・文屋 俊子・三隅 譲二・佐藤 繁美

(福岡県立大学人間社会学部社会学科「社会調査実習」担当教員)

はしがき

社会調査実習では、実習の意義を考え、調査テーマの決定、調査票の作成、有権者名簿からのサンプリング、調査票のプリテスト等を学生におこなわせ、体験的に社会調査の過程が理解できるように配慮した。実習で学生が個別面接調査法での調査を体験することに教育的な意味があると考えたが、統計的な処理に十分なデータを集めるためには、受講者数（すなわち調査員数）が十分でないという現実があるので、個別面接調査法と郵送調査法を組み合わせた2本立ての調査を企画した。

本調査は、郵送調査でおこなったが、12月上旬の予備調査（調査票のプリテストも兼ねたもの）においては、田川市内の1地域（田川市内の城山団地及び城山町）を選び、個別面接調査法で調査をおこなった。

本調査としての郵送調査は、12月9日から21日の期間に田川市全域を対象として実施した。調査の母集団は、田川市民（有権者名簿より系統抽出法で無作為抽出、サンプル数671）。この本調査のための標本抽出は、田川市選挙管理委員会にて11月17日、24日におこなった。

平成17年度社会調査実習受講生

井本 久美子
祝迫 はる香
浦本 美香
江藤 亜夕美
角 明菜
田口 智子
谷野 友紀
本田 奈緒子
面高 麻衣
河野 ちず
田村 舞子
堀川 賀世

調査のテーマ 調査は、「田川市民の地域生活における満足度」というテーマで実施された。このテーマに決定されるまでには、4人ずつの3グループで別々に調査のテーマと調査方法等の検討が行われた。その後、3グループの調査企画を全員で議論し、1つの調査としてどのようなテーマと方法で行うことができるかを考え、このようなテーマとなった。なお、各グループで最初に考えられた調査のテーマは、「田川の町の満足度」、「ごみとリサイクルの現状」、「大型複合施設（ショッピングセンター）の利用状況」であった。

調査のテーマや実施方法を検討する段階で、以下のような点が考慮された。

1. 今までの経験では、(田川地域では)郵送調査法でやった場合の回収率が意外と高いこと。
2. 住宅団地などの特別な場合を除いて、田川では住所表示が整理されていないので(町と組による表示が多い)調査員が、住所で対象者を探すのが簡単ではないこと。
3. 個別面接調査と配票調査、郵送調査では、同じ内容の調査であっても、調査票の形式や質問文自体を変えるべきであること。
4. 郵送調査の場合には、母集団の地域的な広がりが大きくても問題ではないこと。
5. クロス集計や統計的処理をするためには、最低でも200人分のデータが必要であること。
6. 教育的な観点からは、学生に個別面接調査の体験を是非させたいこと。

以上のようなことを総合的に判断して、現地調査に設定した期間には、実施の容易性を重視して、少ないサンプルで狭い地域の範囲で個別面接調査をおこない、そのあとで、それよりも広い範囲(田川市全体)で、手直しした調査票で郵送調査をおこない200人以上のデータを確保する、という2本立ての調査を企画した。

調査の内容 調査の内容としては、田川市民の地域生活における満足度をいくつかの重要な側面からとらえ、それが市民の生活や意識の別の側面とどのように関係しているかを調べるものとした。

主な調査項目 調査票に盛り込んだ主な調査項目は、交通手段、利用している公共の場、生活満足度、外出目的、便利と思うこと、不便に感じていること、商業施設の利用、近所づきあいと友人関係、住みやすさの評価、住み続けることについての意識などである。

サンプリング 標本を、670票程度取る必要があると想定した回収率を30パーセントとすれば201票を確保することができる。サンプリングは、田川市の選挙人名簿登録者全員を母集団として、20の各投票区の中から同じ一定の抽出間隔でサンプルを抽出することにした(系統抽出法)。

実際の作業では、田川市の選挙管理委員会が作成している有権者名簿(選挙人名簿)より、系統抽出法によって無作為に671名の住民を取り出した。抽出間隔は65。2005年12月2日現在の有権者(選挙人名簿登録者)総数は、選挙管理委員会の資料で43,301人であった(男19,504人、女23,797人)。

目次

1	標本の特徴	1
2	単純集計結果の概要	3
3	学生のレポート	15
A	集計結果表	1
B	使用した調査票	16

1 標本の特徴

サンプルの男女別、年齢別構成（対象外も含む）

年齢階層	男		女		計	
	度数	%	度数	%	度数	%
20代	42	14.6%	41	10.7%	83	12.4%
30代	27	9.4%	55	14.3%	82	12.2%
40代	40	13.9%	51	13.3%	91	13.6%
50代	75	26.1%	62	16.1%	137	20.4%
60代	40	13.9%	71	18.5%	111	16.5%
70代	46	16.0%	52	13.5%	98	14.6%
80代	15	5.2%	39	10.2%	54	8.0%
90代	2	.7%	13	3.4%	15	2.2%
計	287	100.0%	384	100.0%	671	100.0%

男女別、年齢別の郵送状況

性別	年齢階層	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	対象外	転居	住所不明	配達	計
										0	1	0	41	42
男	年齢階層	20代	0	1	0	41	42							
		30代	0	1	0	26	27							
		40代	0	0	0	40	40							
		50代	0	3	1	71	75							
		60代	0	1	1	38	40							
		70代	0	1	1	44	46							
		80代	15	0	0	0	15							
		90代	2	0	0	0	2							
	計	17	7	3	260	287								
女	年齢階層	20代	0	1	0	40	41							
		30代	0	0	2	53	55							
		40代	0	2	1	48	51							
		50代	0	1	2	59	62							
		60代	0	0	0	71	71							
		70代	0	0	1	51	52							
		80代	38	1	0	0	39							
		90代	13	0	0	0	13							
	計	51	5	6	322	384								
総計	68	12	9	582	671									

郵送の状況

性別	年齢階層	20-24歳	25-34歳	35-44歳	45-54歳	55-64歳	65-74歳	75歳以上	対象外	転居	住所不明	配達	計
									0	0	0	19	19
男	年齢階層	20-24歳	0	0	0	19	19						
		25-34歳	0	2	0	35	37						
		35-44歳	0	0	0	27	27						
		45-54歳	0	1	1	63	65						
		55-64歳	0	3	0	50	53						
		65-74歳	0	1	1	49	51						
		75歳以上	17	0	1	17	35						
	計	17	7	3	260	287							
女	年齢階層	20-24歳	0	0	0	21	21						
		25-34歳	0	1	0	48	49						
		35-44歳	0	2	3	47	52						
		45-54歳	0	0	0	52	52						
		55-64歳	0	1	2	65	68						
		65-74歳	0	0	0	61	61						
	75歳以上	51	1	1	28	81							
計	51	5	6	322	384								
総計	68	12	9	582	671								

対象外とは、80歳以上を意味する。
 調査票を郵送したのは、79歳未満の603人。
 返送されてきたもののうち、3票は入院中等のため記入なし。
 集計と分析の対象としたのは、230票。

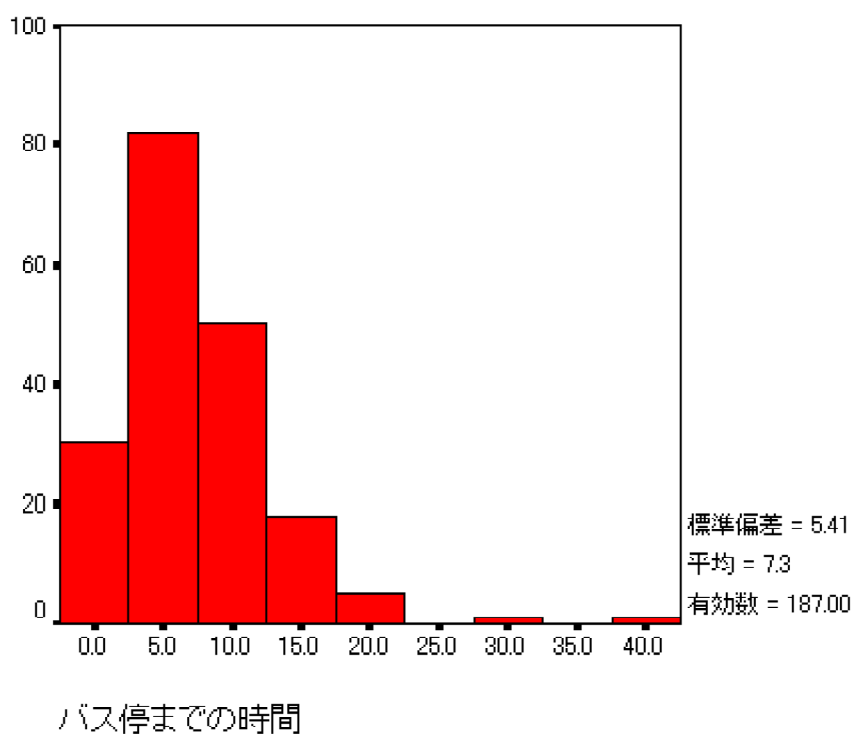
2 単純集計結果の概要

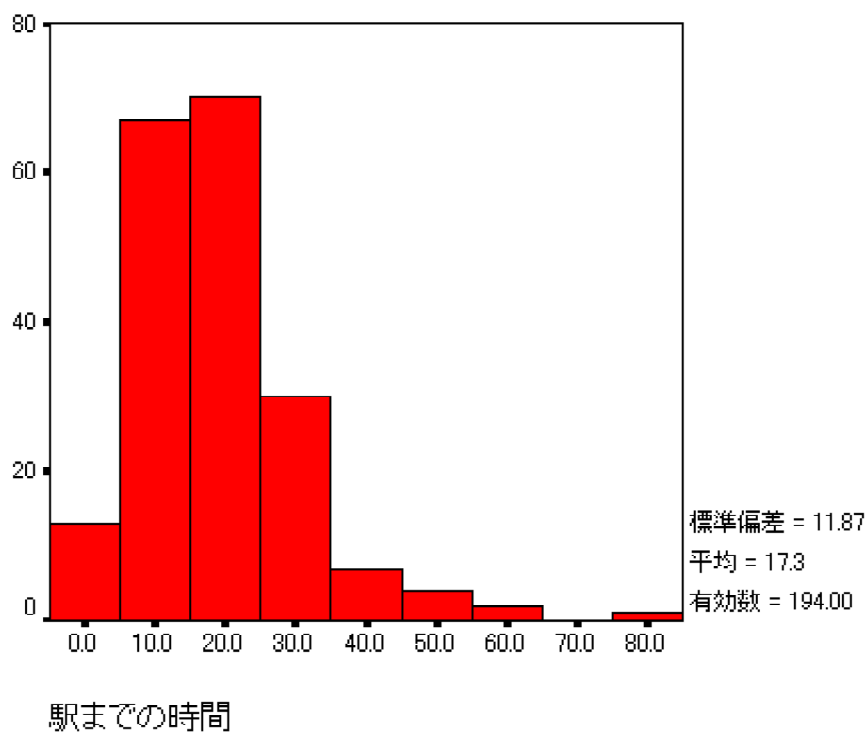
問1 あなたが毎日の生活でよく使う交通手段は次のどれですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

		度数	%
利用する交通機関	自転車	22	9.6
	バイク	10	4.4
	自家用車	186	81.6
	バス	41	18.0
	J R	18	7.9
	平成筑豊鉄道	17	7.5
	タクシー	22	9.6
	その他	1	.4
回答者数		228	100.0

問2 お宅から最寄りのバス停や駅（J R、平成筑豊鉄道）まで歩くと何分かかりますか。

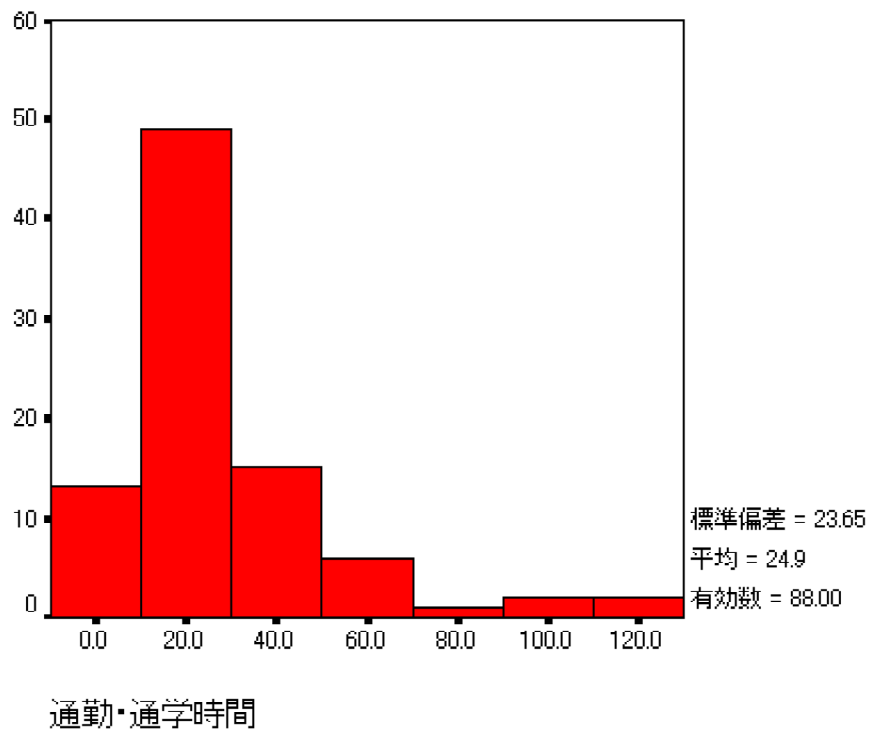
- (1) 最寄りのバス停までかかる時間
- (2) 最寄りの駅までかかる時間





<通勤または通学をされているかたに、うかがいます。>

問3 通勤・通学時間は片道で何分ですか。



問4 あなたがよく利用する公共の場についてお尋ねします。次にあげる場所で、過去1か月の間に1度でも利用したことがあるものはどれですか。田川市外にあるものも含めて、いくつでもお答えください。

		度数	%
よく利用する公共の場	近所の広場・公園	34	14.9
	個人商店・コンビニ・スーパー	202	88.6
	書店	103	45.2
	銀行	164	71.9
	郵便局	162	71.1
	個人医院	102	44.7
	病院	95	41.7
	デパート	44	19.3
	大型商業施設	165	72.4
	娯楽施設	28	12.3
	映画館・劇場	23	10.1
	アスレティッククラブ	2	.9
	公立体育館	12	5.3
	テーマパーク	8	3.5
	鉄道	37	16.2
	バス	47	20.6
	喫茶店	19	8.3
	レストラン	92	40.4
	ホテル・旅館	17	7.5
	神社・寺・教会	43	18.9
公立図書館	36	15.8	
公会堂・公民館	35	15.4	
その他	17	7.5	
回答者数		228	100.0

問5 今あげた場所の中で、あなたがいつもよく利用するのはどれですか。3つまでお答えください。

		度数	%
いつもよく利用する公共の場(3箇所以内)	近所の広場・公園	17	7.7
	個人商店・コンビニ・スーパー	169	76.5
	書店	36	16.3
	銀行	70	31.7
	郵便局	54	24.4
	個人医院	38	17.2
	病院	40	18.1
	デパート	5	2.3
	大型商業施設	86	38.9
	娯楽施設	7	3.2
	映画館・劇場	6	2.7
	公立体育館	5	2.3
	鉄道	5	2.3
	バス	11	5.0
	喫茶店	1	.5
	レストラン(食堂)	18	8.1
	神社・寺・教会	6	2.7
	公立図書館	14	6.3
	公会堂・公民館	13	5.9
その他	1	.5	
回答者数		221	100.0

問6 ふだん、通勤や通学以外でどのような目的で外出されますか。当てはまるものすべてをお答えください。

		度数	%
通勤以外の外出	買い物	205	89.9
	散歩	57	25.0
	病院	110	48.2
	遊び	84	36.8
	習い事	31	13.6
	ボランティア	14	6.1
	学校の送り迎え	24	10.5
	子供や孫に会う	17	7.5
	その他	24	10.5
回答者数		228	100.0

<あなたがお住まいの地域（小学校区程度の範囲）についておうかがいします。>

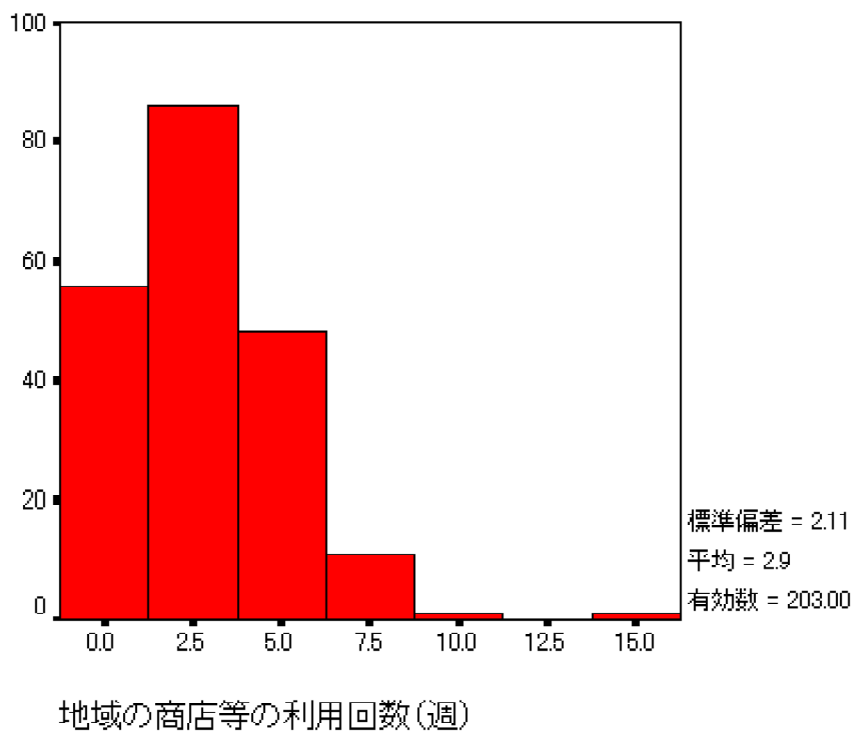
問7 田川市内のこの地域（小学校区程度の範囲）に住んでおられて、便利だと思われることにはどのようなことがありますか。当てはまるものすべてをお答えください。

		度数	%
便利な面	買い物	107	70.4
	通学	20	13.2
	通勤	39	25.7
	商業施設の利用	40	26.3
	娯楽施設の利用	7	4.6
	交通の便	45	29.6
	公園の利用	5	3.3
	人付き合い	38	25.0
	その他	7	4.6
回答者数		152	100.0

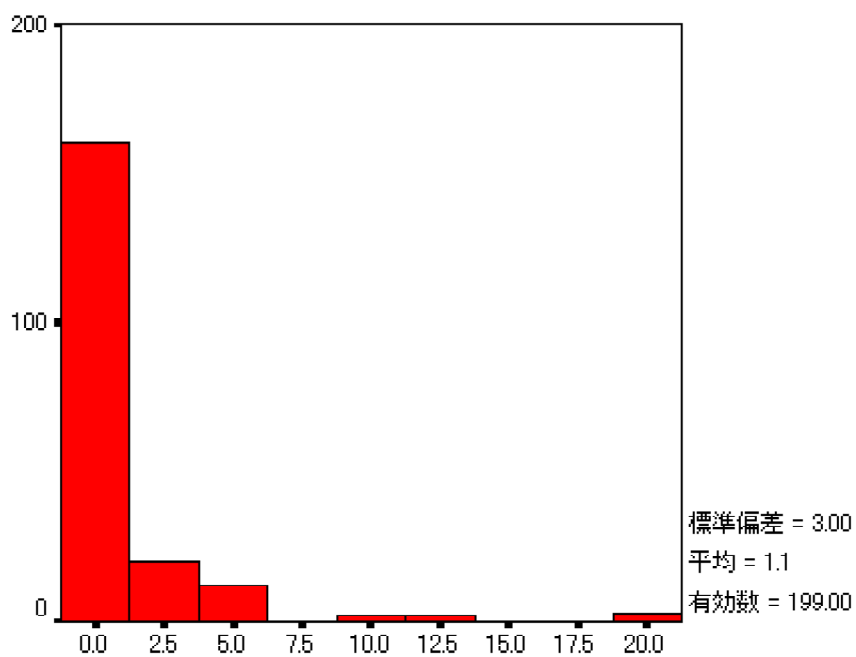
問8 田川市内のこの地域（小学校区程度の範囲）に住んでおられて、不便に感じられことにはどのようなことがありますか。当てはまるものすべてをお答えください。

		度数	%
不便な面	買い物	47	33.3
	通学	5	3.5
	通勤	22	15.6
	商業施設の利用	30	21.3
	娯楽施設の利用	42	29.8
	交通の便	91	64.5
	公園の利用	26	18.4
	人付き合い	11	7.8
	その他	10	7.1
回答者数		141	100.0

問9 田川市内のこの地域（小学校区の範囲）にある商店やコンビニ、スーパーをどの程度利用しますか。平均して週に何回利用するかをお答えください。

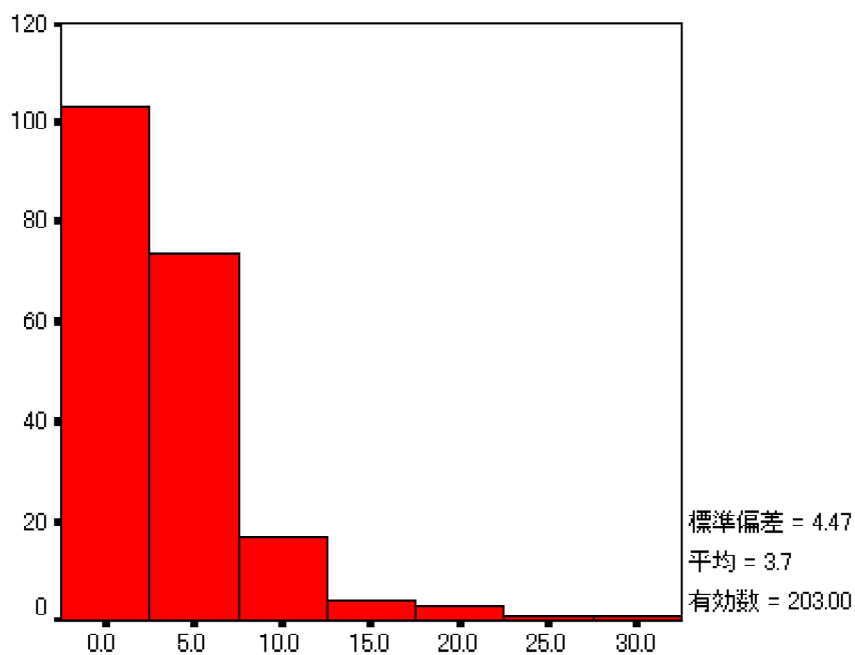


問 10 田川市の中心部にある商店街を月に何回程度利用しますか。



中央商店街の利用回数(月)

問 11 大型商業施設（メルクス、サンリブなど）を月に何回程度利用しますか。
ここでは、田川市外にあるものも含めてお答えください。



大型商業施設の利用回数(月)

問 12 大型商業施設へ出かけるときの交通手段は次のどれですか。2つ以上の交通手段を用いる場合は、距離の長いものを1つお答えください。

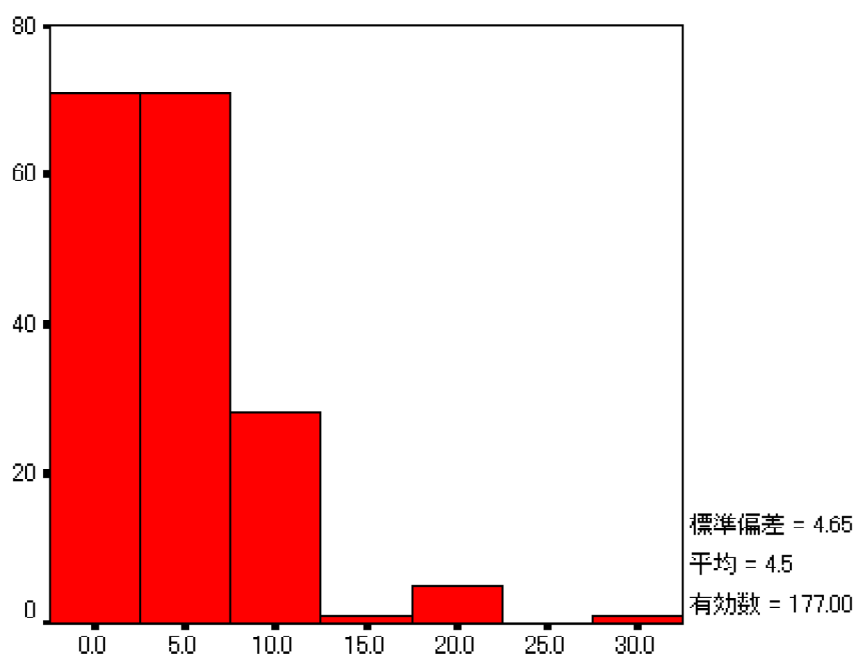
		度数	%
大型商業施設利用の交通手段	徒歩のみ	4	2.0%
	自転車	6	3.0%
	バイク	4	2.0%
	自家用車	170	85.0%
	バス	3	1.5%
	J R	6	3.0%
	平成筑豊鉄道	1	.5%
	タクシー	6	3.0%
合計		200	100.0%

<次に、あなたの、地域での近所づきあいのことなどについておたずねいたします。>

問 13 ふだん近所付き合いをどの程度していますか。

		度数	%
近所づきあい	よくお互いの家を行き来する	15	7.3%
	たまにお互いの家を行き来する	23	11.2%
	会えば世間話をする	67	32.7%
	会えば挨拶はする	89	43.4%
	特に付き合いはない	11	5.4%
合計		205	100.0%

問 14 会えば話をする以上の付き合いをしている近所の人は何人ぐらいいますか。



会えば話をする以上の付き合い

<次に、田川市での毎日の生活についておたずねいたします。>

問15 田川市の公共交通機関（鉄道やバスなど）についてどのように感じていますか。

問16 田川市は、毎日の買い物や日常生活の面で便利ですか。

問17 田川市に住んでいることは、あなたが職業生活をおくるうえで便利ですか。

問18 田川市の教育機関（学校や塾など）についてどのように感じていますか。

問19 田川市の医療水準（病院の数や受診するときの便利さについて）についてどのように感じていますか。

問20 田川市の福祉水準（社会福祉関係施設の数など）についてどのように感じていますか。

問21 田川市の、子育てを行う環境についてどのように感じていますか。

問22 田川市の行政や公共サービスについてどのように感じていますか。

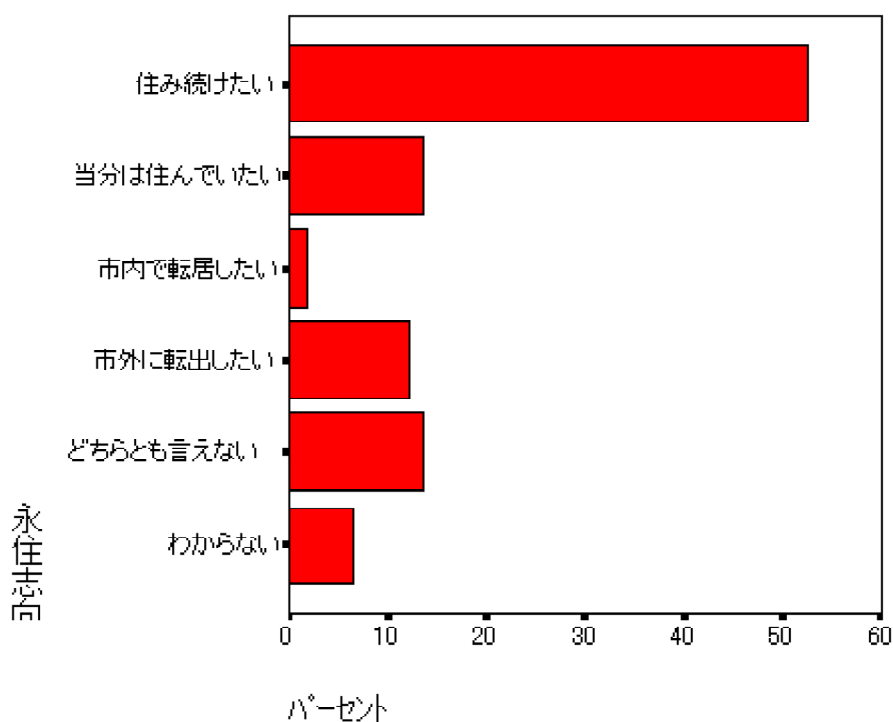
問23 総合的にみた田川市における生活についてどのように感じていますか。

		度数	%
公共交通機関の満足度	たいへん満足	5	3.4%
	やや満足	10	6.8%
	どちらとも言えない	33	22.4%
	やや不満	45	30.6%
	たいへん不満	54	36.7%
合計		147	100.0%
買い物や日常生活の便利度	たいへん便利	24	11.8%
	やや便利	64	31.4%
	どちらとも言えない	41	20.1%
	やや不便	52	25.5%
	たいへん不便	21	10.3%
	わからない	2	1.0%
合計		204	100.0%
職業生活を送る上での便利度	たいへん便利	20	13.4%
	やや便利	31	20.8%
	どちらとも言えない	38	25.5%
	やや不便	40	26.8%
	たいへん不便	20	13.4%
合計		149	100.0%
教育機関の評価	たいへんよい	1	5%
	ややよい	15	7.6%
	どちらともいえない	66	33.3%
	ややよくない	27	13.6%
	たいへんよくない	12	6.1%
	わからない	77	38.9%
合計		198	100.0%
医療水準の評価	たいへんよい	10	4.9%
	ややよい	44	21.6%
	どちらともいえない	74	36.3%
	ややよくない	49	24.0%
	たいへんよくない	19	9.3%
	わからない	8	3.9%
合計		204	100.0%
福祉水準の満足度	たいへん満足	3	1.5%
	やや満足	17	8.5%
	どちらとも言えない	71	35.3%
	やや不満	34	16.9%
	たいへん不満	19	9.5%
	わからない	57	28.4%
合計		201	100.0%
子育て環境の満足度	たいへん満足	3	1.5%
	やや満足	17	8.5%
	どちらとも言えない	69	34.7%
	やや不満	42	21.1%
	たいへん不満	18	9.0%
	わからない	50	25.1%
合計		199	100.0%
行政や公共サービスの満足度	たいへん満足	3	1.5%
	やや満足	15	7.4%
	どちらとも言えない	74	36.5%
	やや不満	60	29.6%
	たいへん不満	28	13.8%
	わからない	23	11.3%
合計		203	100.0%
総合的満足度	たいへん満足	4	2.0%
	やや満足	52	25.4%
	どちらとも言えない	55	26.8%
	やや不満	63	30.7%
	たいへん不満	24	11.7%
	わからない	7	3.4%
合計		205	100.0%

問 24 あなたは、田川市に何年住んでいますか。当てはまる番号に○をつけてください。（田川市生まれで一時的に離れたことのある人は、それが5年未満であれば、(1)「生まれてからずっと」としてお答えください。）

		度数	%
在住年数	出生時より	83	37.1%
	5年以上離れたことがある	23	10.3%
	5年未満	8	3.6%
	5年～9年	7	3.1%
	10年以上	103	46.0%
合計		224	100.0%

問 25 あなたはずっと田川市に住み続けたいですか？ 次の中から当てはまるものひとつをお答えください。



3 学生のレポート

学生が提出したレポートに変更を加えている部分があり、そのため、表と文章が一致しなくなっているところなどがある。また、変更する必要がある場合でも、それを避けている部分もあり、この点に注意して読まれることを希望する。

田川市の人々の公共交通機関への満足度

堀川賀世

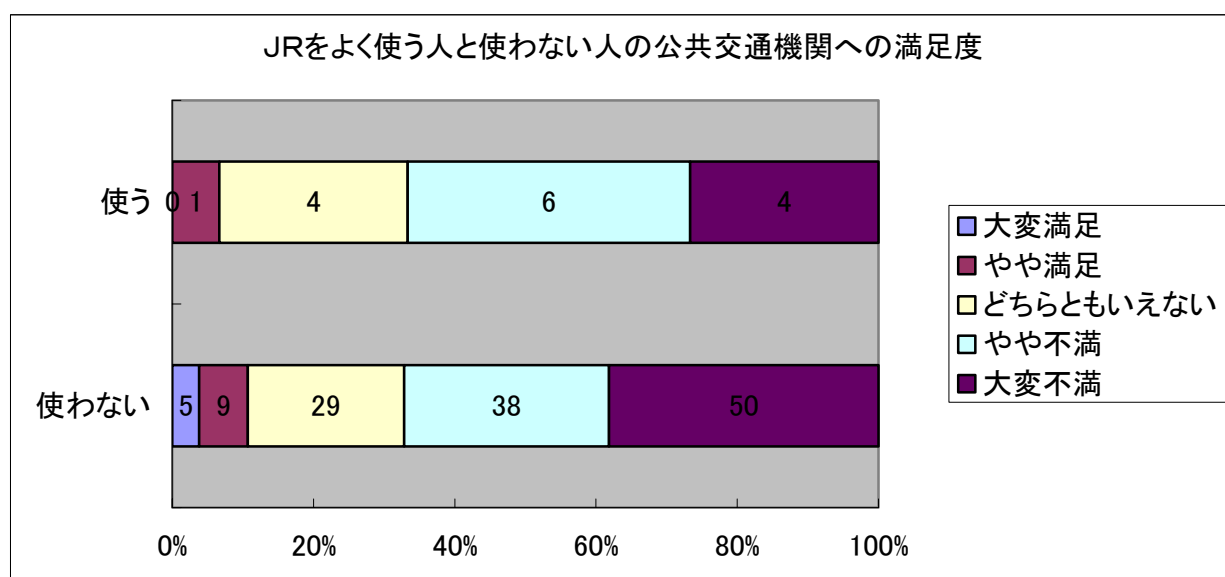
私は、問8の「田川市のこの地域（小学校区程度の範囲）に住んでおられて、不便に感じられることにはどのようなことがありますか。」という問の答えに、「交通の便」と答えた人が91人と最も多くいたことから、田川市における交通の便について調べていこうと思う。

また、交通についての中でも、特にJRやバス、平成筑豊鉄道の公共交通機関について、毎日の生活の中で公共交通機関をよく使う人とそうでない人との満足度を比較し考えていこうと思う。

まず、問1の「あなたが毎日の生活でよく使う交通手段は次のどれですか。」という問にJRを使うと答えた人における、問15の「田川市の公共交通機関（鉄道やバスなど）についてどのように感じていますか。」という公共交通機関への満足度を調べた（図-1）。

図-1をみてみると、毎日の生活でJRをよく使う人で公共交通機関について、大変満足、やや満足と答えた人は、全体の約6%であるのに対し、やや不満、大変不満と答えた人は全体の66%である。また、毎日の生活でJRを使わないと答えた人で公共交通機関が大変満足、やや満足と答えた人は全体の約10%で、やや不満、大変不満と答えた人は全体の67%であった。毎日の生活でJRをよく使う人と、使わない人における公共交通機関への満足度を比べてみると、ほぼ同じ割合であることが分かった。

図-1

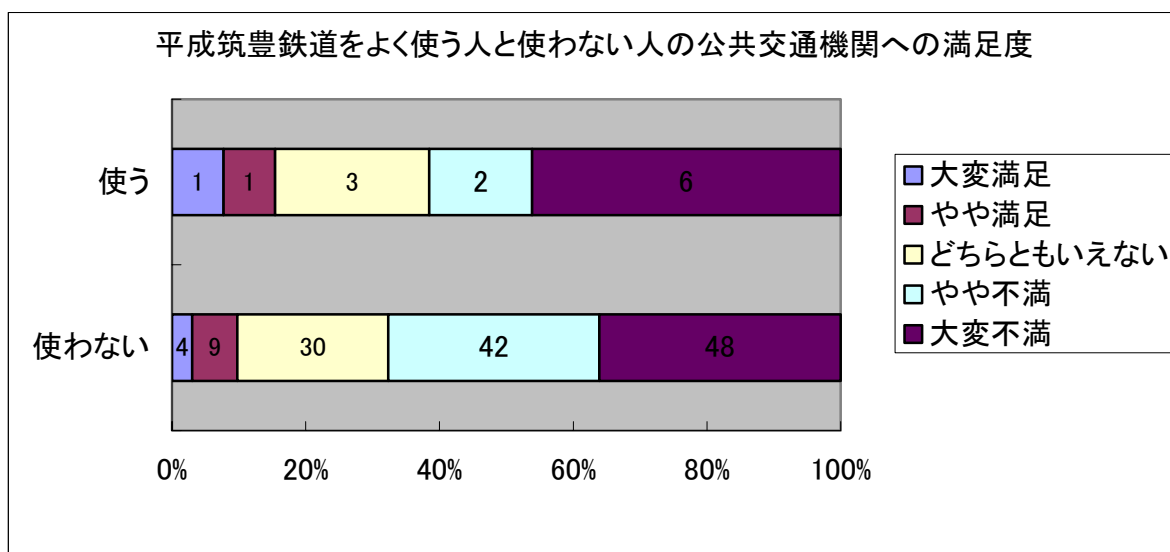


次に、問1の「あなたが毎日の生活でよく使う交通手段は次のどれですか。」という問に平成筑豊鉄道を使うと答えた人における、問15の「田川市の公共交通機関（鉄道やバスなど）についてどのように感じていますか。」という公共交通機関への満足度を調べた（図-2）。

図-2をみると、毎日の生活で平成筑豊鉄道をよく使う人で、公共交通機関について、大変満足、やや満足と答えた人は、全体の15%である。これに対し、やや不満、大変不満と答えた人は全体の62%であった。また、毎日の生活で平成筑豊鉄道を使わないと答えた人の公共交通機関が大変満足、やや満足と答えた人は、全体の約10%で、やや不満、大変不満と答えた人は、全体の68%であった。

毎日の生活で平成筑豊鉄道をよく使う人と、使わない人における公共交通機関への満足度を比べてみると、平成筑豊鉄道を使う人の方が使わない人より公共交通機関を大変満足、やや満足と答えた人がやや多い。しかし、やや不満、大変不満と答えた人は平成筑豊鉄道をよく使う人より使わない人のほうがやや多かった。これは、平成筑豊鉄道について不満だと感じているから利用しない人が多いのではないか。

図-2



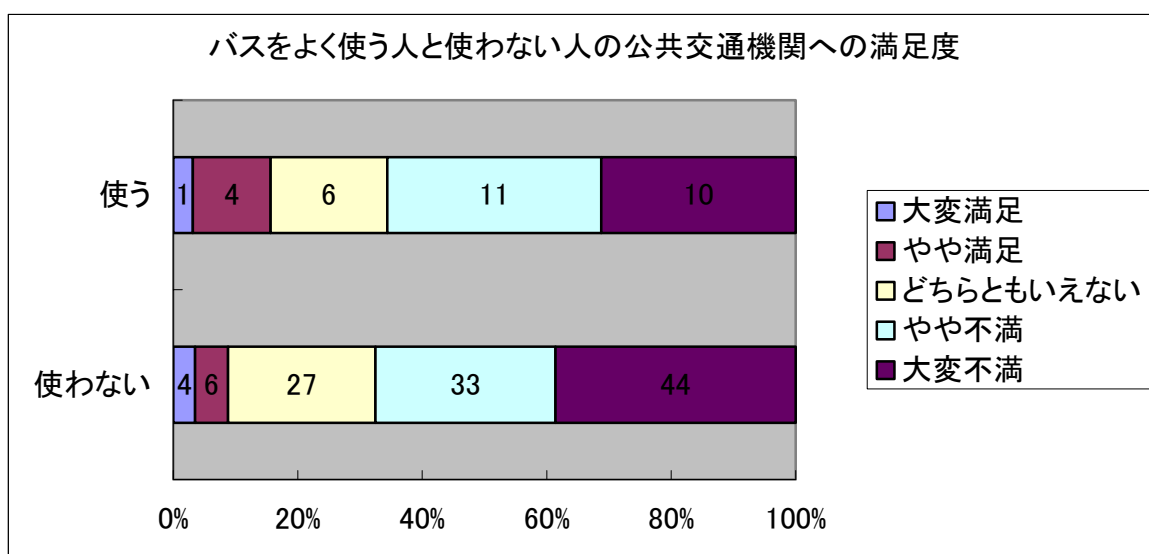
また、問1の「あなたが毎日の生活でよく使う交通手段は次のどれですか。」という問にバスを使うと答えた人における、問15の「田川市の公共交通機関（鉄道やバスなど）についてどのように感じていますか。」という公共交通機関への満足度を調べた（図-3）。

図-3をみると、毎日の生活でバスをよく使う人で、公共交通機関について、大変満足、やや満足と答えた人は、全体の16%である。これに対し、やや不満、大変不満と答

えた人は全体の66%であった。また、毎日の生活でバスを使わないと答えた人の公共交通機関へ大変満足、やや満足と答えた人は、全体の約9%で、やや不満、大変不満と答えた人は、全体の68%であった。

毎日の生活でバスをよく使う人と、使わない人における公共交通機関への満足度を比べてみると、バスをよく使う人の方が公共交通機関へ大変満足、やや満足と答えた人が多く、それに対して、やや不満、大変不満と答えた人はバスを使わない人の方が多かった。

図-3



毎日の生活で公共交通機関（JR、平成筑筑豊鉄道、バス）をよく使う人における公共交通機関の満足度をみてみたが、どれも満足している人は少なく、6割以上の人不満であると思っていることが分かった。また、どの公共交通機関も毎日の生活でよく使う人よりも、使わない人の方が不満だと思っていることが分かった。このことから、多くの人公共交通機関は本数や接続などの何らかの問題があり、不満な点があるから利用しないのではないかと思う。

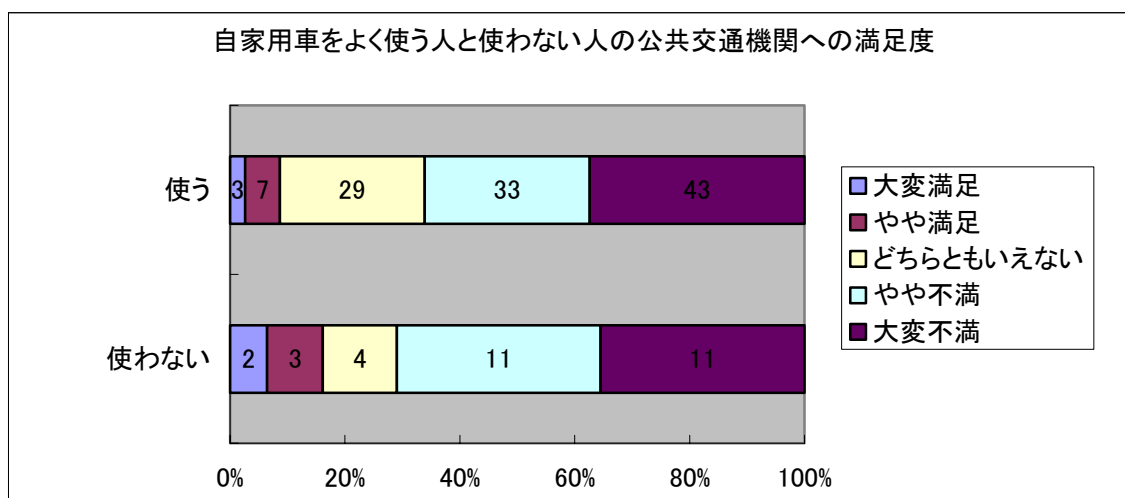
私は、公共交通機関を使わない人は、公共交通機関についてはそんなに興味がなく現状のままでもよい、と考えているのではないかと思っていた。しかし、実際は公共交通機関を利用している人よりも利用していない人の方が、不満であると思っていることが分かり、公共交通機関はその地域の人々にとって、とても重要な交通機関であることが分かった。そして、多くの人々が気にかけている機関だからこそ、問題点を探して改善していくと、より多くの人々が利用するようになるのではないかと思う。

また、問1の「あなたが毎日の生活でよく使う交通手段は次のどれですか。」という問に自家用車を使うと答えた人における、問15の「田川市の公共交通機関（鉄道やバスなど）についてどのように感じていますか。」という公共交通機関への満足度を調べた（図-4）。図-4をみてみると、毎日の生活で自家用車をよく使う人で、公共交通機関について、大変満足、やや満足と答えた人は、全体の9%である。これに対し、やや不満、大変不満と答えた人は全体の66%であった。また、毎日の生活で自家用車を使わないと答えた人の公共交通機関へ大変満足、やや満足と答えた人は、全体の約16%で、やや不満、大変不満と答えた人は、全体の71%であった。

毎日の生活で自家用車をよく使う人で、公共交通機関について不満だと思っている人が多いことから、公共交通機関が不便で利用しにくいと思う人がより便利な自家用車を使っているのではないのだろうか。

毎日の生活で公共交通機関（JR、平成筑豊鉄道、バス）をよく使う人と自家用車をよく使う人の公共交通機関への満足度はそこまで差がないことが分かった。

図-4



自家用車の使用と、田川市の交通面の満足度との関連性

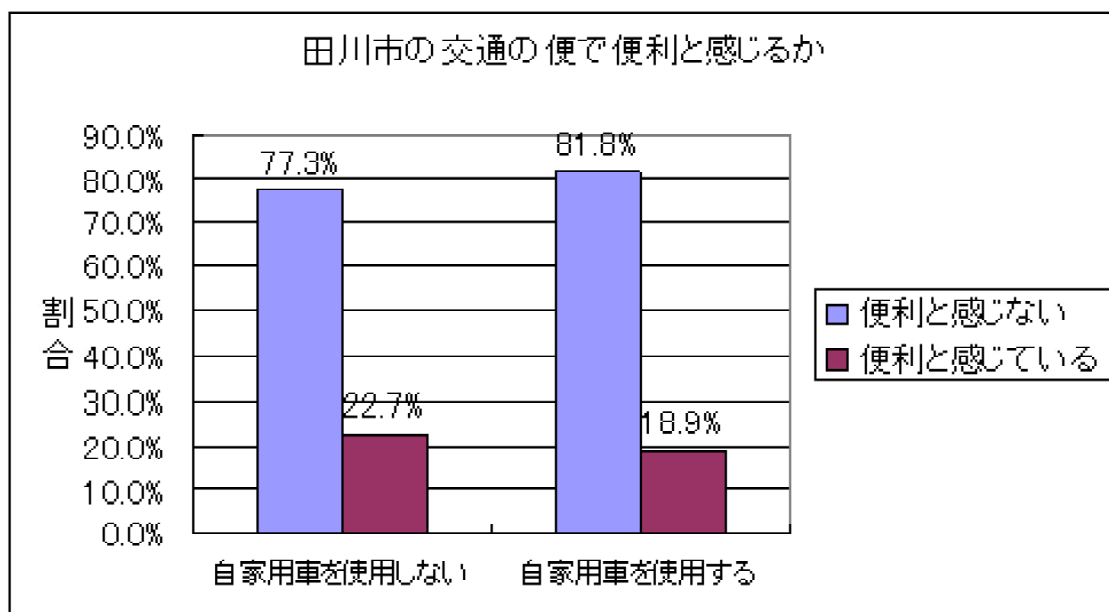
面高麻衣

今回、社会調査実習の講義の一環で、田川市在住の20歳以上の方々を対象に「田川市民の地域生活における満足度に関する調査」という調査を郵送調査（一部訪問調査）で行い、回収できた調査票を集計して結果をまとめた。その中で私が関連性に興味を持った「自家用車の使用と、田川市の交通面の満足度との関連性」について調べた。予想としては、田川市は電車やバスの本数が少なく接続が悪いと感じているので、自家用車を使用していない人は自家用車を使用している人に比べて不便に感じている割合が高いのではないかと考えた。

このレポートでは、『問1. あなたが毎日の生活でよく使う交通手段はどれですか。当てはまるものすべてに○をつけて下さい。』という質問項目で『4. 自家用車』に○をつけた回答者は全体の80.8%であった。この質問項目をこのレポートテーマの主軸とし、関連がありそうな交通に関するその他の質問項目とクロス集計を行った。

問1の4番×問7の6番 「田川市のこの地域（小学校区程度の範囲）に住んでおられて、便利だと思われることにはどのようなことがありますか。」という質問の6番の“交通の便”に○をつけたかどうか。

予 想・・・田川市は、飯塚や小倉につづく国道があるため、自家用車を使用している人にとっては便利でないと感じている人は少ないのではないかと考えた。また、反対に、電車やバスなどの公共交通機関を使っている人にとっての田川市は、本数や乗り継ぎが多いため便利だとは感じていない割合が高いのではないかと考えた。

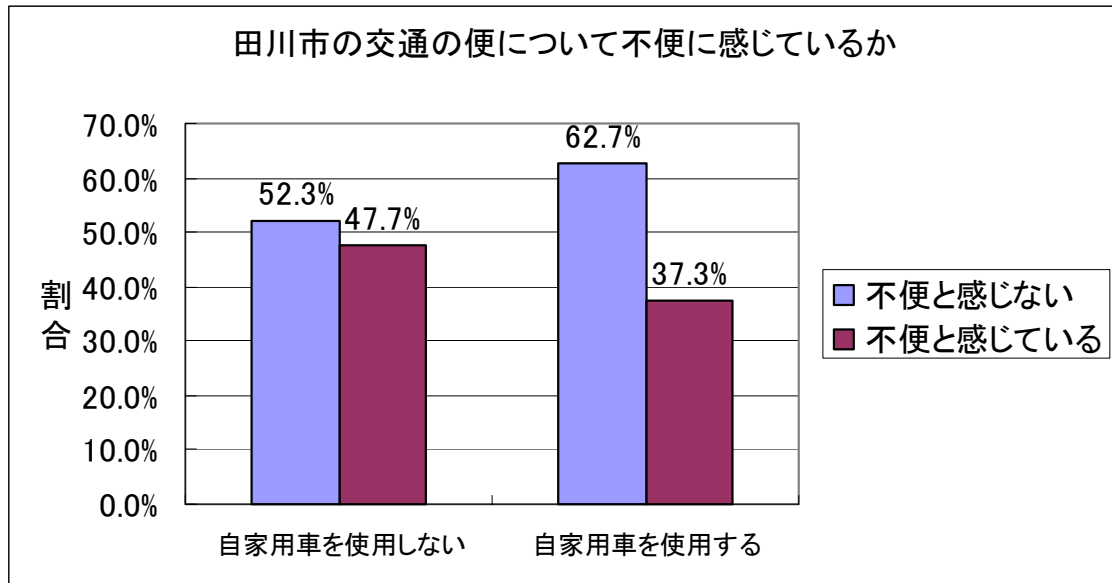


Q014	Q0706		
度数			
パーセント			
行のパーセント	便利と	便利と	
列のパーセント	感じない	感じる	合計
自家用車を 使用しない	34 14.85 77.27 18.48	10 4.37 22.73 22.22	44 19.21
自家用車を 使用する	150 65.50 81.08 81.52	35 15.28 18.92 77.78	185 80.79
合計	184 80.35	45 19.65	229 100.00

結 果・・・上のグラフにより、自家用車を使用しない人に注目すると、交通の便が便利と感じている人より、便利だと感じていない割合がおよそ3倍であった。これに対して、自家用車を使用している人に注目すると、便利だと感じている人より、便利だと感じていない割合が4倍以上という結果であった。そして便利であると答えた欄の行パーセントより、自家用車を使用していない人と自家用車を使用している人は便利に感じている割合は大して変わらないことが分かる。つまりこの結果では、自家用車を使用している人が田川市の交通の便について便利に感じているとはいえないということになる。カイ二乗値で関連性を見ると、危険度が56%であるので、この集計では関連があるとは言えない。

問1の4番×問8の6番 「田川市のこの地域(小学校区程度の範囲)に住んでおられて、不便だと思われることにはどのようなことがありますか。」という質問の6番の“交通の便”に○をつけたかどうか。

予 想・・・自家用車を使用している・使用していないに関わらず、交通の便を不便に感じているのではないか。やはり田川市の位置的に博多・小倉といった福岡の中心都市に近くないということも関係するのではないか。



Q014	Q0806		
度数			
パーセント			
行のパーセント	不便と	不便と	
列のパーセント	感じない	感じる	合計
自家用車を 使用しない	23	21	44
	10.04	9.17	19.21
	52.27	47.73	
	16.55	23.33	
自家用車を 使用する	116	69	185
	50.66	30.13	80.79
	62.70	37.30	
	83.45	76.67	
合計	139	90	229
	60.70	39.30	100.00

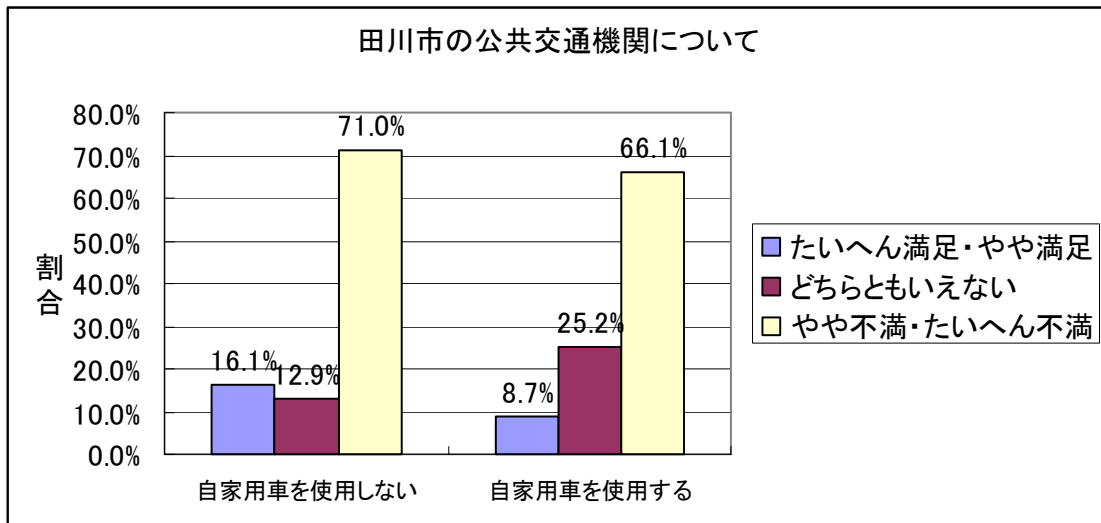
結 果・・・自家用車を使用している人では、不便と感じているかいないかはほぼ均等に分かれている。自家用車を使用していない人では、約62%が不便に感じていて、約37%が不便に感じていない。不便に感じている人に注目すると、自家用車を使用している人より使用していない人の方が約10%多い。このことから、自家用車を使用していない人の方が田川市の交通の便について不便に感じていることが分かった。カイ二乗値で関連性を見ると、危険度が20%であるので、この集計では関連があるとは言えない。

問1の4番×問15 「田川市の公共交通機関（鉄道やバスなど）についてどのように感じ

ていますか。」という質問でどの番号を答えたか。

*6番「使う必要がないので答えられない」の回答は考えないものとする。

予想・・・田川市の公共交通機関は本数が少なく、また飯塚や博多などに出るまでに乗り換えが必要なことから、自家用車を使用していない人が不満に感じている割合が高いのではないだろうか。

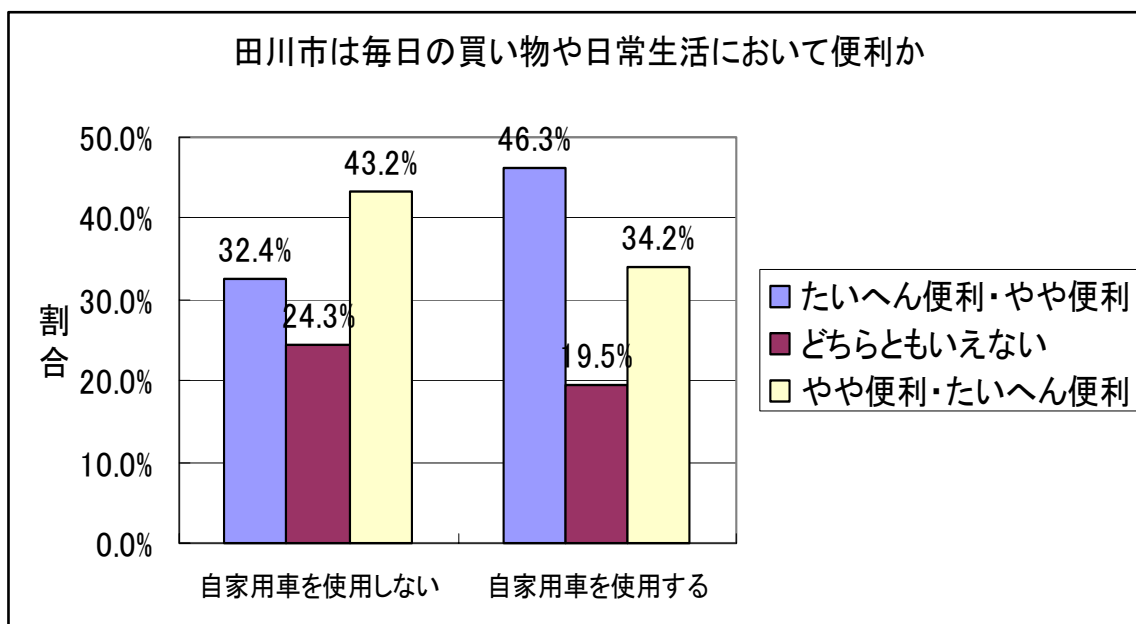


	q014	q15			
度数					
パーセント					
行のパーセント	満足・			どちらとも 不満	
列のパーセント	やや満足	いえない	やや不満	合計	
自家用車を 使用しない	5	4	22	31	
	3.42	2.74	15.07	21.23	
	16.13	12.90	70.97		
	33.33	12.12	22.45		
自家用車を 使用する	10	29	76	115	
	6.85	19.86	52.05	78.77	
	8.70	25.22	66.09		
	66.67	87.88	77.55		
合計	15	33	98	146	
	10.27	22.60	67.12	100.00	

結果・・・自家用車を使用していない人のうち、約70%が不満・やや不満と解答しており、自家用車を使用している人のうち約66%が不満・やや不満と解答した。自家用車を使用している人で、どちらでもないと回答した割合が全体の20%近くあり、関心が無い為なのかと感じた。これより、自家用車を使用している・使用していないに関わらず、田川市の公共交通機関について不満を感じている割合が高いという結果となった。そして、自家用車を使用している不満の割合と、自家用車を使用していない不満の割合には大きな違いが見られなかった。カイ二乗値で関連性を見ると、危険度が21%であるので、この集計では関連があるとは言えない。

問1の4番×問16「田川市は、毎日の買い物や日常生活の面で便利ですか。」という質問でどの番号を答えたか。
 *6番「わからない」の回答は考えないものとする。

予想・・・自家用車を使用している人は買い物や日常生活において足があるので不便に感じている人が少なく、便利と感じている人が多いのではないだろうか。自家用車を使用していない人では、不便に感じている割合が高いことが予想されるが、自家用車を使用しないことに慣れている（普通であると感じている）という風に考えると、不便に感じている割合はそう高くないのではないか。



q014	q16			
度数				
パーセント				
行のパーセント	便利・	どちらとも	不便	
列のパーセント	やや便利	いけない	やや不便	合計
-----+-----+-----+-----+				
自家用車を	12	9	16	37
使用しない	5.97	4.48	7.96	18.41
	32.43	24.32	43.24	
	13.64	21.95	22.22	
-----+-----+-----+-----+				
自家用車を	76	32	56	164
使用する	37.81	15.92	27.86	81.59
	46.34	19.51	34.15	
	86.36	78.05	77.78	
-----+-----+-----+-----+				
合計	88	41	72	201
	43.78	20.40	35.82	100.00

結果・・・自家用車を使用していない人では、不便と答えた割合が少々目立つものの、便利・どちらでもないと答えた割合と大差がなかった。自家用車を使用している人では、便利と答えた割合が46%で半分近くになり、便利と答えた全体の割合の86%を占めていた。この結果から分かることは、毎日の買い物や日常生活の面で便利と感じているのは、自家用車を使用している人の割合が高く、不便と感じているのは自家用車を使用していない人の割合が高いということである。カイ二乗値で関連性を見ると、危険度が30%であるので、この集計では関連があるとは言えない。

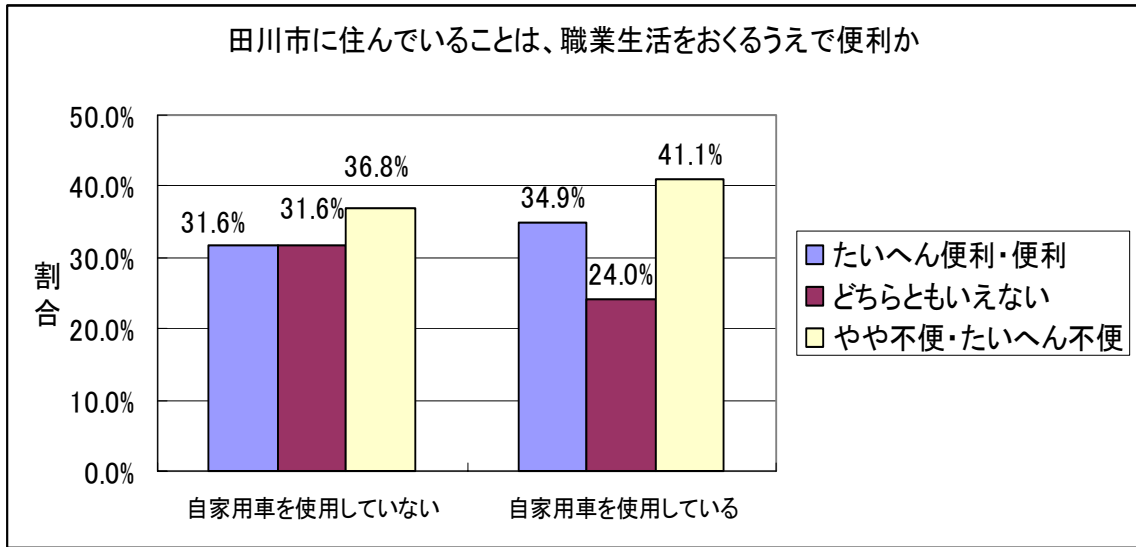
問1の4番×問17「田川市に住んでいることは、あなたが職業生活をおくるうえで便利

ですか」という質問でどの番号を答えたか。

*6番「当てはまらないので答えられない」の回答は考えないものとする。

予想・・・職業生活を送る上では、勤務地の関係もあると思うのが、自家用車を使用している・していないでの差はないのではないかな。

田川市に住んでいることは、職業生活をおくるうえで便利か



q014	q17			
度数				
パーセント				
行のパーセント	便利・	どちらとも	不便・	
列のパーセント	やや便利	いえない	やや不便	合計
自家用車を 使用しない	6	6	7	19
	4.05	4.05	4.73	12.84
	31.58	31.58	36.84	
	11.76	16.22	11.67	
自家用車を 使用する	45	31	53	129
	30.41	20.95	35.81	87.16
	34.88	24.03	41.09	
	88.24	83.78	88.33	
合計	51	37	60	148
	34.46	25.00	40.54	100.00

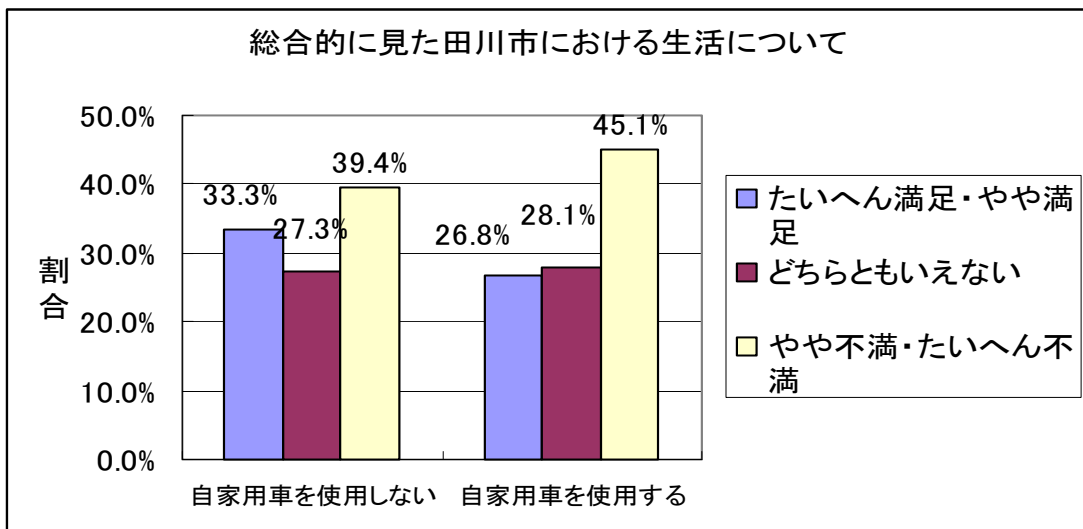
結果・・・予想通り、自家用車を使用している人の便利・不便の割合と自家用車を使用していない人の便利・不便の割合はほぼ同等であった。どちらも満足より、不満の解答の割合がやや高かった。カイ二乗値で関連性を見ると、危険度が77%であるので、この集計では関連があるとは言えない。

問1の4番×問23 「総合的にみた田川市における生活についてどのように感じています

か。」という質問でどの番号を答えたか。

*6番「わからない」の回答は考えないものとする。

予 想・・・公共交通機関の利便性などから、自家用車を使用していない人の方が満足していない割合は高いのではと考えた。が、しかし、問15とのクロス集計の結果を参考とすると、田川市の公共交通機関については自家用車を使用している・使用していないに関わらず不満が高かったため、この質問項目についても自家用車を使用している・使用していないという関係性は見られないのではないかと。



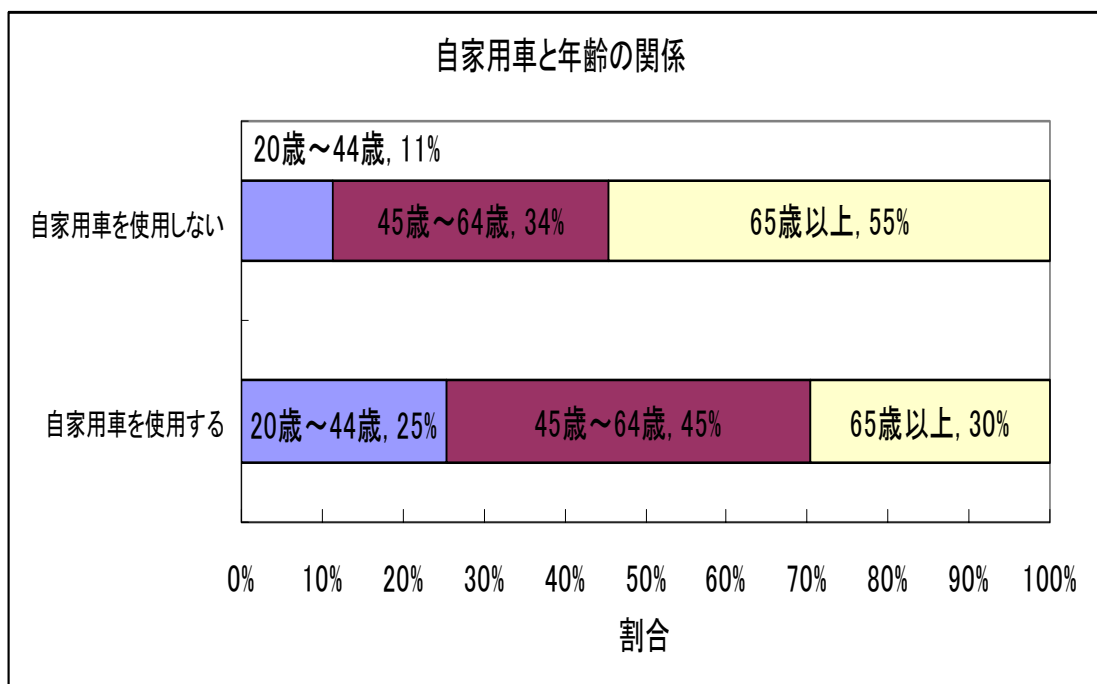
	q014		q23		合計	
	度数	パーセント	満足・やや満足	どちらともいえない		不満・やや不満
自家用車を使用しない	11	33.33	9	27.27	13	33
自家用車を使用する	44	26.83	46	28.05	74	164
合計	55	27.92	55	27.92	87	197
					44.16	100.00

結 果・・・自家用車を使用していない人では、満足・不満の割合はほぼ半々といった感じである。自家用車を使用している人では、満足している割合よりも不満と答えた割合が20%近く高いという結果になった。総合的にみると、自家用車を使用している人の方が、自家用車を使用していない人と比べて、田川市における生活について不便と答えた割合が高いという意外な結果となった。カイ二乗値で関連性を見ると、危険度が73%であるので、この集計では関連があるとは言えない。

問1の4番×F2「あなたの年齢は？」という質問でどの番号を答えたか。

* 調査に協力していただいた世代が比較的上の世代が多いため、20～44歳、45～64歳、65歳以上という区切り方とした。

予 想・・・自家用車は広い世代で使用されているのではないか。65歳以上では、高齢ということもあり、他に比べて自家用車を使用していない割合が高いのではないか。



q014	f2			
度数				
パーセント				
行のパーセント				
列のパーセント	20～44歳	45～64歳	65歳以上	合計
自家用車を 使用しない	5	15	24	44
	2.18	6.55	10.48	19.21
	11.36	34.09	54.55	
	9.62	15.31	30.38	
自家用車を 使用する	47	83	55	185
	20.52	36.24	24.02	80.79
	25.41	44.86	29.73	
	90.38	84.69	69.62	
合計	52	98	79	229
	22.71	42.79	34.50	100.00

結果・・・20～44歳では、自家用車を使用していない割合より自家用車を使用している割合の方が約80%高い。45～64歳では、自家用車を使用していない割合より自家用車を使用している割合の方が約70%高い。65歳以上では、自家用車を使用している割合より自家用車を使用していない割合の方が約40%高い。全体としてみると、自家用車を使用していない割合が一番高いのは65歳以上の区分であり、自家用車を使用している割合が一番高いのは45～64歳の区分であった。カイ二乗値で関連性を見ると、危険度が0.5%であるので、この集計では関連があると言える。

ま と め

各クロス集計の結果をまとめると、年齢とのクロス集計以外での6つの質問項目において、自家用車を使用している人と使用していない人で回答の割合に差が出たのは3項目であった。このうち、2つの項目（問8・問16）については自家用車を使用している人の方が不便に感じていない割合が高かった。しかし、1つの項目（問23）では、自家用車を使用している人の方が不満に感じている割合が高くなった。これより、自家用車を使用している人が、必ずしも自家用車を使用していない人よりも田川市の交通面での満足度が高いとはいえない。従って、自家用車の使用と、田川市の交通面の満足度との関連性は無いと言える。

交通について

江藤 亜夕美

問2「お宅から最寄のバス停や駅（JR、平成筑豊鉄道）まで歩くと何分かかりますか」という問いで、かかる時間が多いほど、問15「田川市の公共交通機関（鉄道やバスなど）についてどのように感じていますか。次の中からお答え下さい。」の問いに対し、「やや不満」「たいへん不満」と答えている人が多いのではないかという予想をたて、クロス集計をしたところ、以下のような結果が出た。

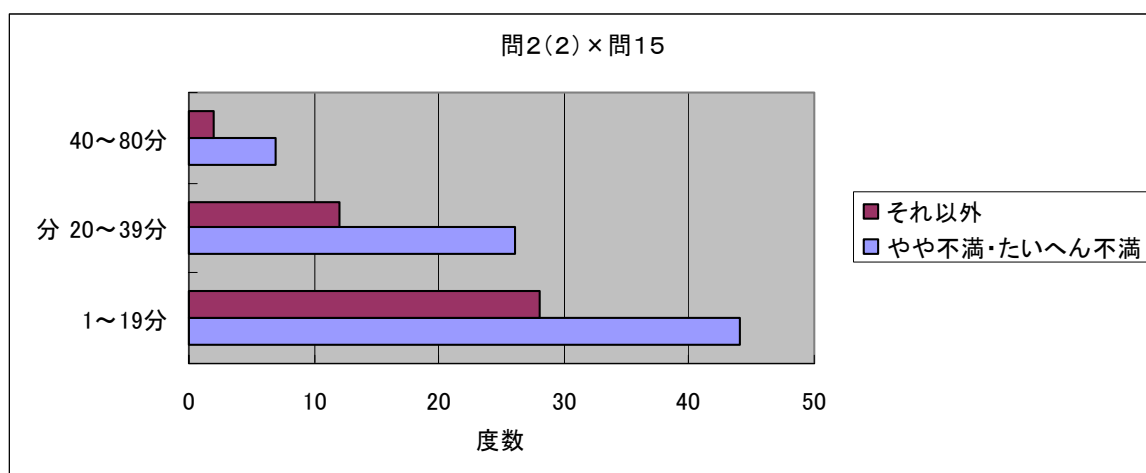
まず、(1) 最寄のバス停までかかる時間と、問15をクロス集計してみた。

		バス停までの距離 (分)				合計	
		1-19		20-40		度数	%
		度数	%	度数	%		
公共交通機関の満足度	満足	12	10.6%	3	8.8%	15	10.2%
	どちらとも言えない	29	25.7%	4	11.8%	33	22.4%
	不満	72	63.7%	27	79.4%	99	67.3%
合計		113	100.0%	34	100.0%	147	100.0%

		バス停までの距離 (分)				合計	
		1-19		20-40		度数	%
		度数	%	度数	%		
公共交通機関の満足度	不満以外	41	36.3%	7	20.6%	48	32.6%
	不満	72	63.7%	27	79.4%	99	67.3%
合計		113	100.0%	34	100.0%	147	100.0%

		駅までの時間 (分)						合計	
		1-19		20-39		40-80		度数	%
		度数	%	度数	%	度数	%		
公共交通機関の満足度	満足	10	13.7%	1	2.6%	2	22.2%	13	10.8%
	どちらとも言えない	18	24.7%	11	28.9%	0	.0%	29	24.2%
	不満	45	61.6%	26	68.4%	7	77.8%	78	65.0%
合計		73	100.0%	38	100.0%	9	100.0%	120	100.0%

次に、(2) 最寄の駅までかかる時間と、問15をクロス集計してみた。



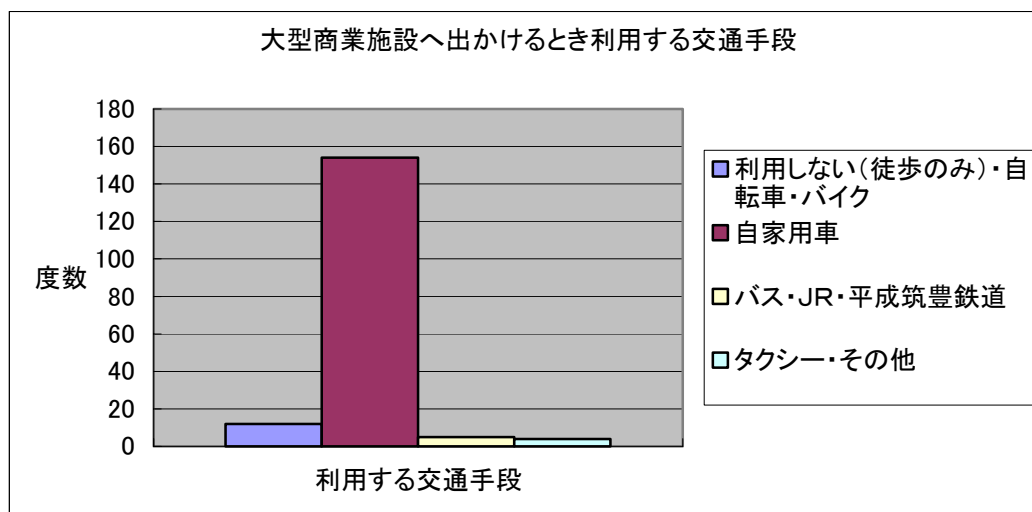
統計量	自由度	値	p値
χ^2 乗値	2	1.3105.	0.5193

この結果によると、予想とは違い、バス停や駅までかかる時間が短い人のほうが「やや不満」「たいへん不満」という意見を持っている人が多いということが分かった。理由としては次のようなことが考えられるだろう。それは、バス停までの距離が近い人のほうがバスや電車等の利用頻度が高くなり、バス停や駅までの距離以外にそのもののサービスへの不満などを持ちやすいためである、と考えられる。また、その求めるものの水準も人によって違ってくる上に、全てにおいて満足と感じない限り「不満」と答える傾向があるのではないかと思う。

一方、バス停や駅までの距離が遠い人は、「不満」と感じるほどバス停や駅を利用しようとしていないためではないか、と考えられるだろう。

次に、問11「大型商業施設（メルクス、サンリブなど）を月に何回程度利用しますか。ここでは田川市以外にあるものも含めてお答え下さい。」の問いで、利用する頻度が高い人ほど、問12「大型商業施設へ出かけるときの交通手段は次のどれですか。2つ以上の交通手段を用いる場合は、距離の長いものを1つお答え下さい。」の問いに対し、自家用車と答えている人が多いのではないだろうかという予想をたて、クロス集計をした、集計の結果、利用頻度に関わらず大型商業施設を利用する人の多くは自家用車を利用していることが分かり、その他の交通手段はほとんど利用していないことが分かった。

大型商業施設へ出かけるとき、どの交通手段が一番利用されているかを示したものが以下のグラフである。



このような結果の理由として、次のことが考えられる。まず、田川では自家用車の所持率が高く、移動のほとんどが自家用車で行われているのではないだろうか、そのために公共交通機関等を利用する機会が少ないのではないか。また、例えばメルクスやサンリブに行こうとして公共交通機関を利用したいと考えても、バス停や駅とそれらの施設が接していないため、利用しづらいのではないだろうか、ということが考えられる。

自家用車の利用と施設利用の頻度について

角 明 菜

施設利用について、自家用車を利用するかどうかということが商業施設の利用頻度に影響するのかどうかということを調べた。

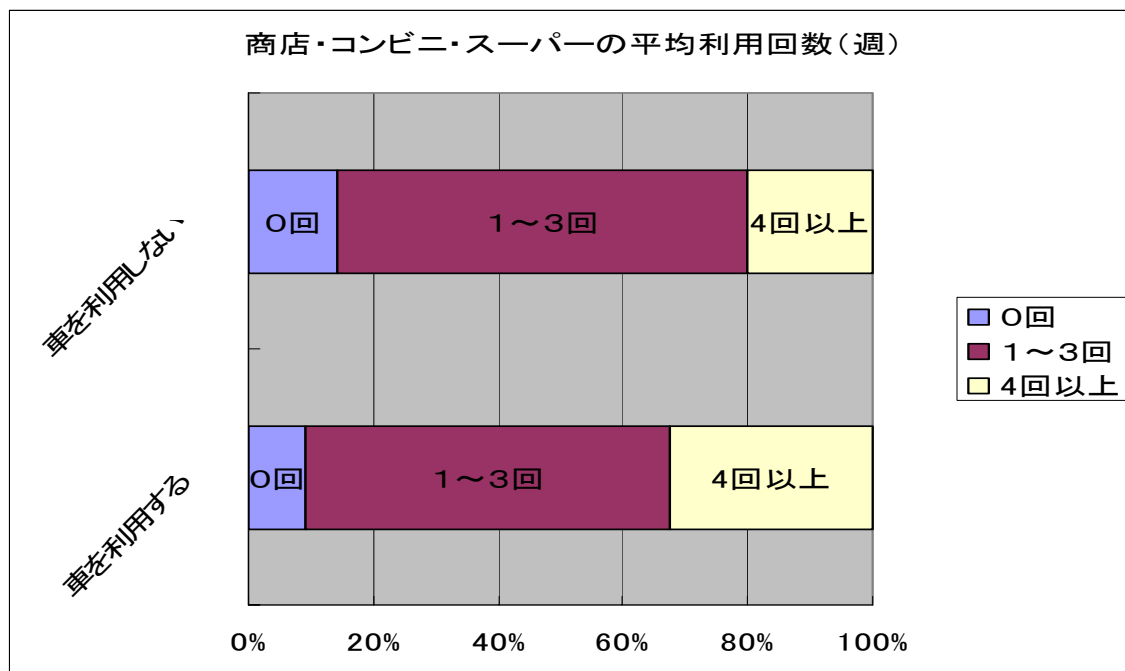
調査票の問1で「よく使う交通手段」について尋ねており、ここの4で普段、自家用車を利用するかどうかということがわかるので、これが問9の「商店・コンビニ・スーパーの週の利用回数」、問10の「商店街の月の利用回数」、問11の「大型商業施設の月の利用回数」とそれぞれ関係があるのかどうか、クロス集計によって分析してみた。

まず、車をよく利用するかどうかを尋ねている Q014 と、商店・コンビニ・スーパーの週の利用回数を尋ねている Q09 を SAS によってクロス集計してみた。このとき、「期待度数が5より小さくなっている」との警告が出たので、利用回数を「0回」=1、「1～3回」=2、「4回以上」=3 とし、警告が出ないように分けた。その結果は以下のようになった。

度数	行のパーセント			合計
	1	2	3	
1	5	23	7	35
	14.29	65.71	20.00	
2	15	98	54	167
	8.98	58.68	32.34	
合計	20	121	61	202

統計量	自由度	値	p 値
χ^2 乗値	2	2.5189	0.2838
尤度比 χ^2 乗値	2	2.5939	0.2734
Mantel-Haenszel の χ^2 乗値	1	2.4899	0.1146
ϕ 係数		0.1117	
一致係数		0.1110	
Cramer の V 統計量		0.1117	

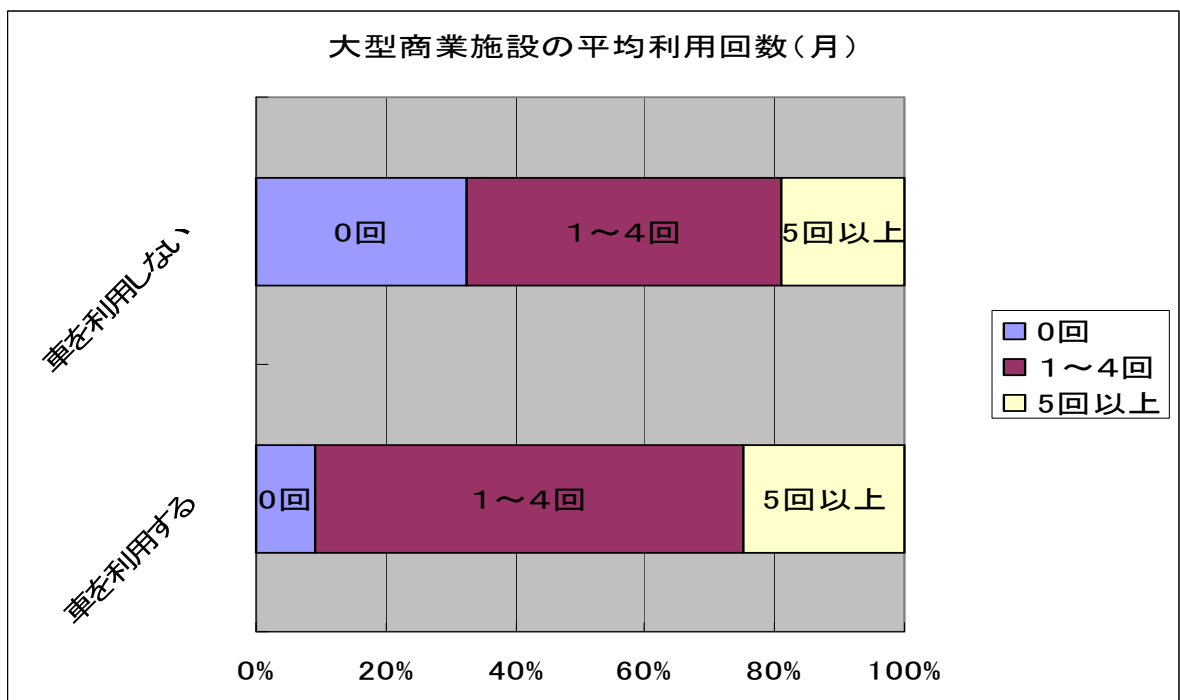
車を利用するかどうかというのは、1→利用しない、2→利用する で示されている。
 p 値から見て、商店・コンビニ・スーパーの利用頻度は、車を利用するかどうかということと関連があるとはいえない。



次に、車を利用するかどうかということと、問10の商店街の月の利用回数についても同様に調べてみた。このときも「期待度数が5より小さくなっている」との警告が出たので、利用回数を「0回」=1、「1~4回」=2、「5回以上」=3とし、警告が出ないように分けた。その結果は以下のようなになった。

度数	1	2	3	合計
行のパーセント				
1	21	10	6	37
	56.76	27.03	16.22	
2	116	42	3	161
	72.05	26.09	1.86	
合計	137	52	9	198

統計量	自由度	値	p 値
χ^2 乗値	2	14.6623	0.0007
尤度比 χ^2 乗値	2	10.9911	0.0041
Mantel-Haenszel の χ^2 乗値	1	8.2353	0.0041
ϕ 係数		0.2721	
一致係数		0.2626	
Cramer の V 統計量		0.2721	

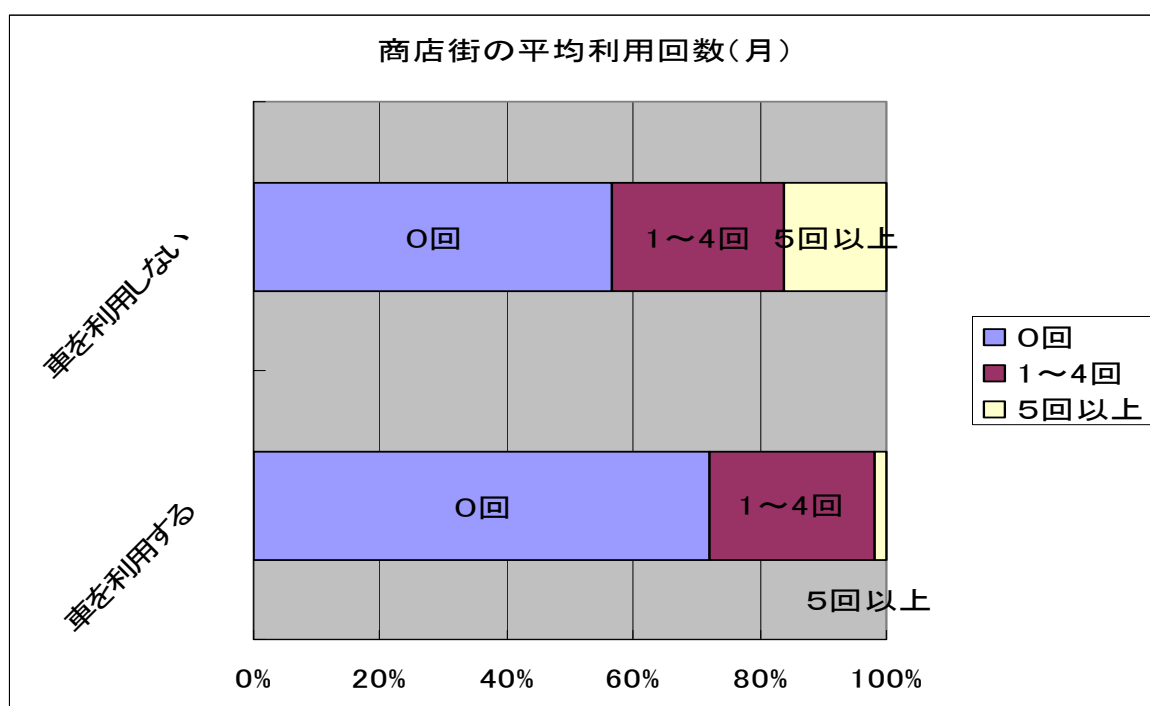


この結果から見て、車を利用しない人の方が商店街をより多く利用しているということがわかる。

そして最後に、車を利用するかどうかと問11の大型商業施設の月の利用回数についても同様に調べた。このときも「期待度数が5より小さくなっている」との警告が出たので、利用回数を「0回」=1、「1~4回」=2、「5~8回」=3、「10回以上」=4とし、警告が出ないように分けた。その結果は以下ようになった。

度数	行のパーセント			合計
	1	2	3	
1	12	18	7	37
	32.43	48.65	18.92	
2	15	109	41	165
	9.09	66.06	24.85	
合計	27	127	48	202

統計量	自由度	値	p 値
χ^2 乗値	2	14.2237	0.0008
尤度比 χ^2 乗値	2	11.7383	0.0028
Mantel-Haenszel の χ^2 乗値	1	7.1479	0.0075
ϕ 係数		0.2654	
一致係数		0.2565	
Cramer の V 統計量		0.2654	



この結果から見て、車を利用する人の方が大型商業施設をより多く利用しているということがいえる。

考察すると、商店・コンビニ・スーパーは近所にあり、歩いてでも行けるような距離にあるため、車を利用するかどうかは利用頻度に関連がないという結果になったのではないだろうか。また、大型商業施設はスーパー等と比べるとそんなに数多くあるものではないので、少し離れている場合には、車を利用しない人はどうしても車を利用する人よりも頻繁に利用することはできず、逆に車を利用する人は、品揃えが多いなどの利点がある大型商業施設を、商店街よりも頻繁に利用することになると考えられる。

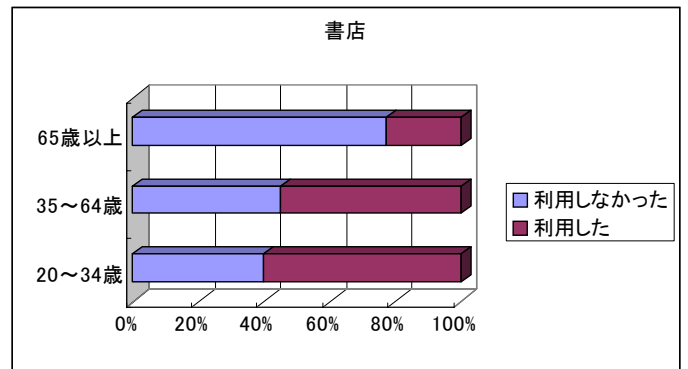
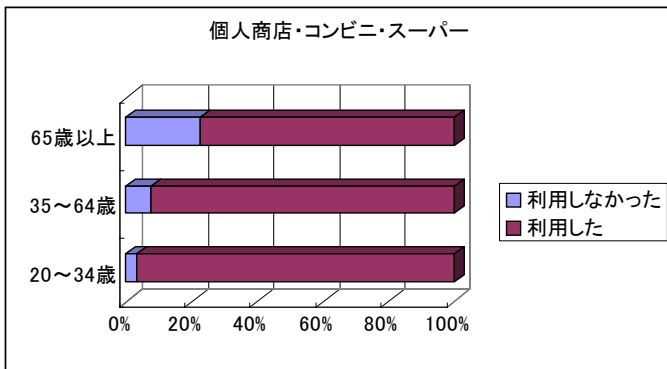
施設利用について

井本 久美子

問4「あなたがよく利用する公共の場についてお尋ねします。次にあげる場所で、過去1ヶ月の間に1度でも利用したことがあるものはどれですか。田川市以外にあるものも含めて、いくつでもお答えください。」と、F2の年齢をクロス集計した。

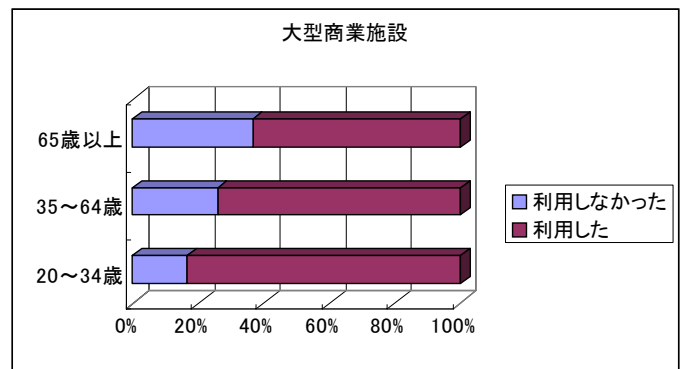
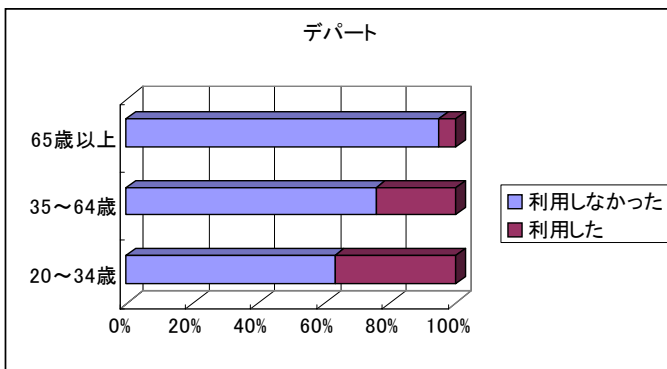
F2の年齢は、1.20歳未満、2.20～24歳、3.25～34歳を20～34歳とし、4.35～44歳、5.45～54歳、6.55～64歳を35～64歳とし、7.65～74歳、8.75歳以上を65歳以上という3区分した。

○商業施設



	自由度	値	p値
X2 乗値	2	12.9147	0.0016

	自由度	値	p値
X2 乗値	2	23.3541	<.0001



	自由度	値	p値
X2 乗値	2	17.9746	0.0001

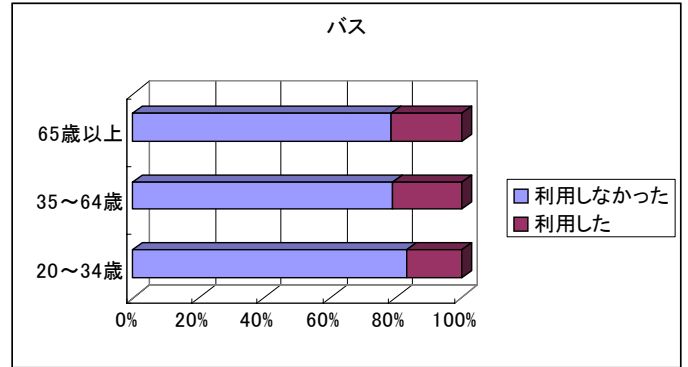
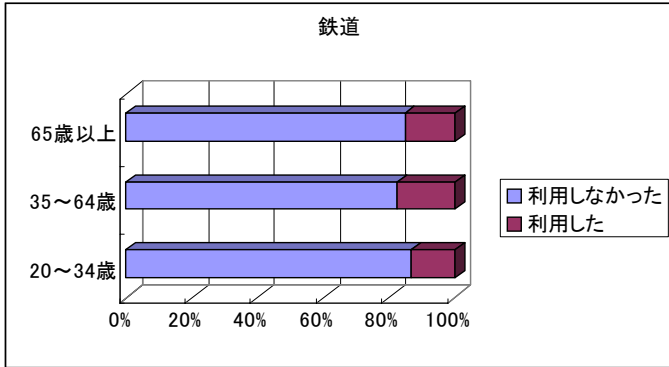
	自由度	値	p値
X2 乗値	2	5.1037	0.0779

上記の4つの全ての商業施設において、利用した割合は「20～34歳」がもっとも多く、次いで「35～64歳」、「65歳以上」となっている。若い世代の方が、商業施設をよく利用しているということである。

また、施設別にみると、「書店」の「65歳以上」を除いて、「個人商店・コンビニ・スーパー」、「書店」、「大型商業施設」では、全ての年代の人が半数以上利用している。けれど、「デパート」は利用しなかった人の方が多い。それは、田川市にデパートがないために、利用した人が少ないと考えられる。しかし、「20～34歳」では、約40%が利用している。この調査が『田川市以外にあるものも含めて』とあるので、田川市近郊の北九州市や福岡市のデパートを利用したのではないかと推測できる。

日用品や食料品など、生活に必要なものは田川市内でも充足できるが、それ以外の例えば高級品などは田川市内では購入が難しいのかもしれない。若い世代がそのようなサービスを求めて、他へ移動しているのはいか、と考えられる。

○公共交通機関



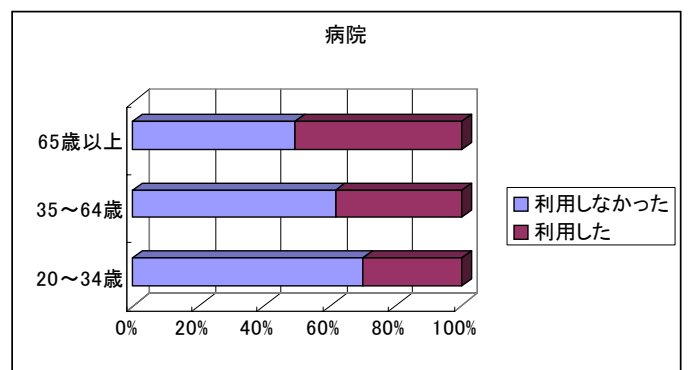
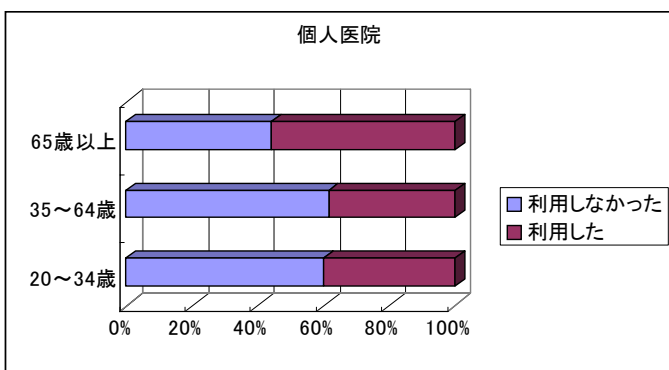
	自由度	値	p値
X2 乗値	2	0.3909	0.8225

	自由度	値	p値
X2 乗値	2	0.3286	0.8485

どちらの公共交通機関も、利用しなかった割合がどの世代でもおよそ 80%である。問 1 の普段の交通機関を利用するかという問いで、80%の人が自家用車を利用すると回答していることから、田川市民は公共交通機関を利用せず、自家用車を利用している。それは、公共交通機関を利用するよりも、自家用車を利用する方が便利であるからであろう。

けれど、「鉄道」、「バス」ともに、「20~34 歳」よりも「35~64 歳」と「65 歳以上」の方が利用した割合が高い。高齢になってくると、自家用車の運転も困難になってくる。よって、高齢化が進む田川市では、公共交通機関の充実を図る必要があるのではないだろうか。

○医療施設



	自由度	値	p値
X2 乗値	2	6.1021	0.0473

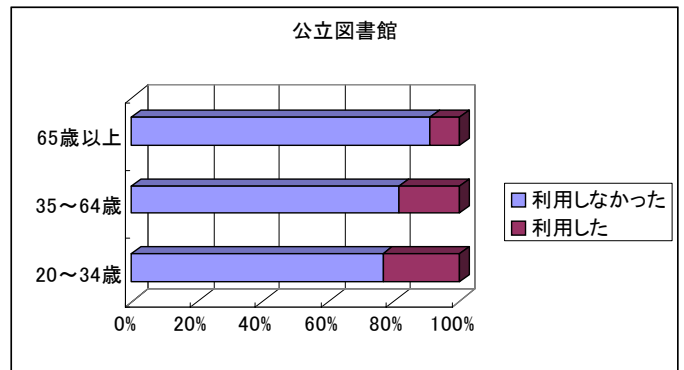
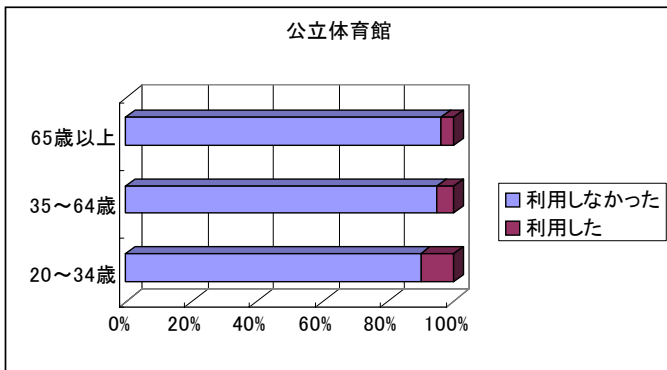
	自由度	値	p値
X2 乗値	2	4.8446	0.0887

どちらの医療施設も「65 歳以上」は、半数以上が利用している。高齢者は、通院している方も多く、医療施設を利用する機会も多い。

「個人医院」と「病院」を比較すると、どの世代も「病院」よりも「個人医院」の方が、利用した割合が高

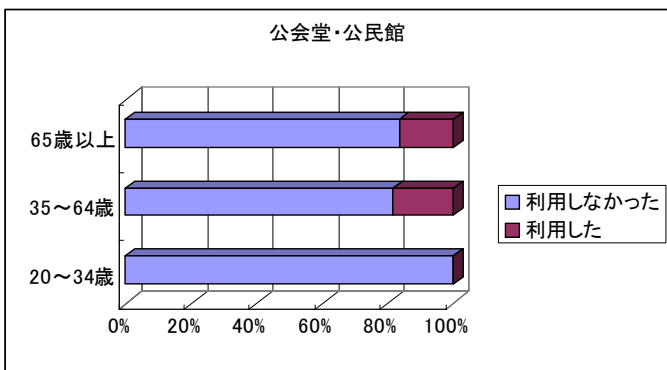
い。家の近所にある個人医院の方を利用しているのであろう。

○公立施設



	自由度	値	p値
X2 乗値	2	1.7139	0.4245

	自由度	値	p値
X2 乗値	2	4.7364	0.0937



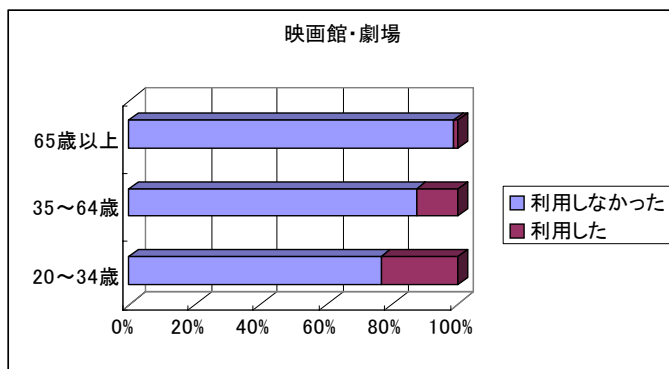
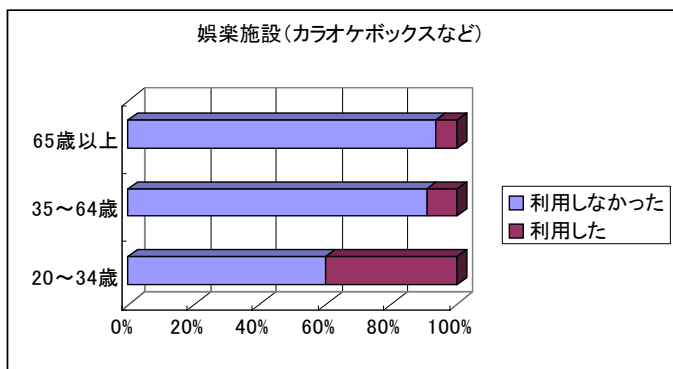
	自由度	値	p値
X2 乗値	2	6.358	0.0416

「公立体育館」と「公立図書館」では、利用した人の中では、「20~34 歳」がもっとも多く、次いで「35~64 歳」、「65 歳以上」となっている。若い世代の方が、余暇に運動したり、読書をする人が多いのかもしれない。

一方で、「公会堂・公民館」では、利用した人の中では、「35~64 歳」がもっとも多く、次いで「65 歳以上」である。「20~34 歳」は、利用した割合が 0% である。公会堂や公民館を利用するのは、地域での集まりや講座などが考えられる。よって、若い世代よりも年を重ねた人たちが、地域の行事などに積極的に関わっているのではないだろうか。

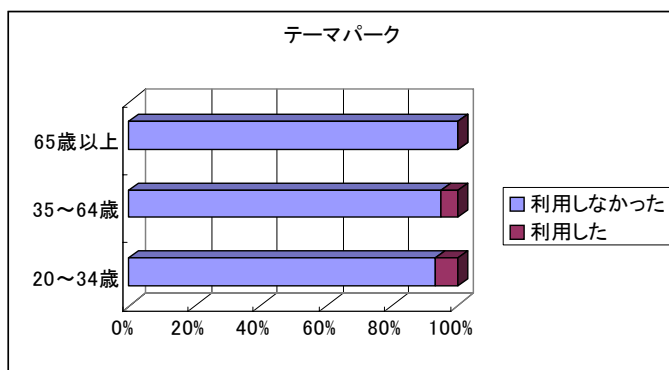
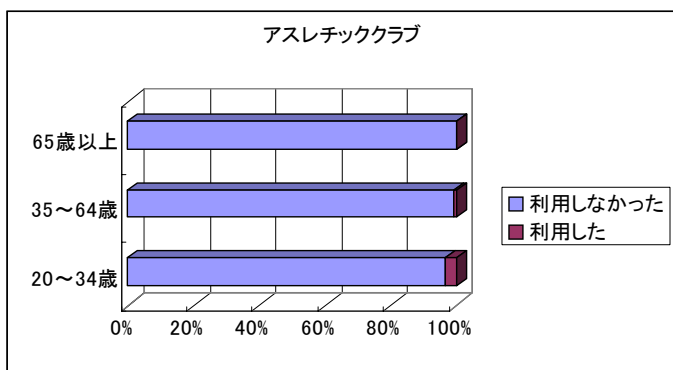
しかし、上記の 3 つの公立施設において、利用した割合よりも利用しなかった割合の方が圧倒的に高い。公立施設を利用しないのは、利用する必要があるという理由も挙げられるが、利用するのに不便である、利用したいと思わないという設備や制度に不備があるのならば、改善していかなければならない。

○ 娯楽施設



	自由度	値	p値
X2 乗値	2	25.1695	<.0001

	自由度	値	p値
X2 乗値	2	13.403	0.0012



	自由度	値	p値
X2 乗値	2	2.7952	0.2472

	自由度	値	p値
X2 乗値	2	4.5636	0.1021

上記4つの全ての娯楽施設について、利用した人の中では、「20~34歳」がもっとも多く、次いで「35~64歳」、「65歳以上」の順になっている。どの施設も利用した人より利用しなかった人の割合の方が多い。それは、「映画館・劇場」や「テーマパーク」が田川市にはなく、利用したくても利用できる環境が整備されていないためであろう。

それでも、商業施設において、「デパート」で「20~34歳」が他の世代に比べて高かったように、娯楽施設でも、田川市にはないものを求めて、他へ移動している、と考えられる。

以上の4つの施設に分けた公共の場の利用と年齢のクロス集計の結果から、次のようなことが言える。

田川市には、日常生活においてはあまり不便はないが、都市的サービスや高次のサービスを受ける環境が整っていないために、それらのサービスを受けるために他へ移動している、と考えられる。特に若い世代が、それらのサービスを求め、移動しているのだろう。この若い世代にとって、魅力あるまちづくりをしていくべきではないだろうか。

そして、田川市では少子高齢化が進んでいる。医療施設や公共交通機関でみたように、高齢者の方が利用している。よって、高齢者にとって住みやすいまちづくりというのも、考えていかなければならない。

年齢別にみた公共の場の利用（過去1ヶ月）

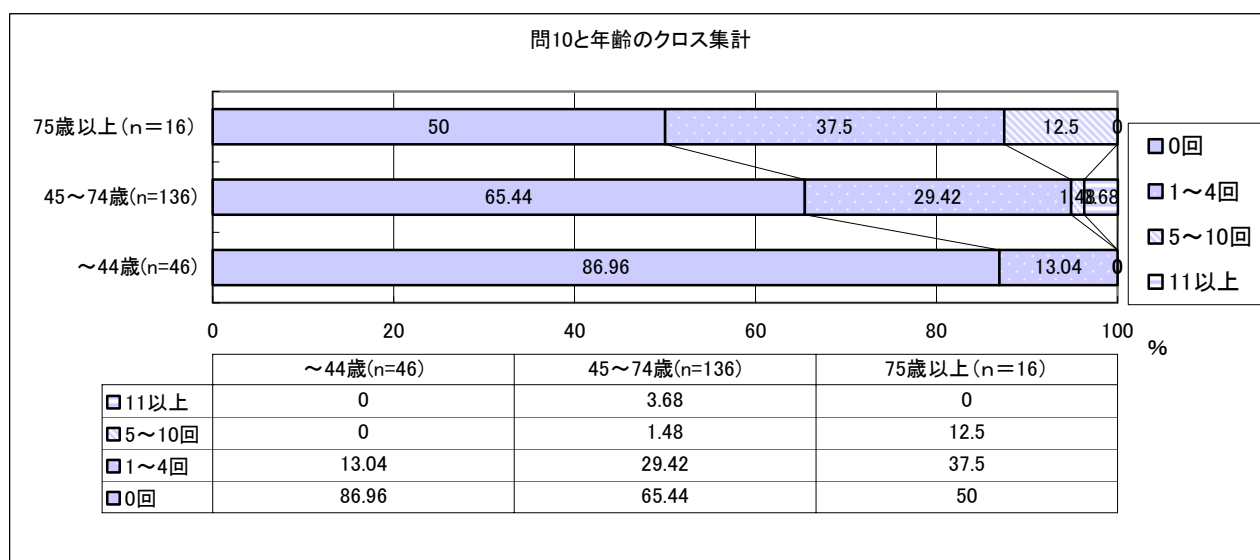
		20-34 歳		35-64 歳		65 歳以上	
		度数	%	度数	%	度数	%
近所の広場・公園	利用しない	6	85.7%	74	85.1%	94	84.7%
	利用した	1	14.3%	13	14.9%	17	15.3%
個人商店・コンビニ・スーパー	利用しない	0	.0%	4	4.6%	15	13.5%
	利用した	7	100.0%	83	95.4%	96	86.5%
書店	利用しない	3	42.9%	37	42.5%	66	59.5%
	利用した	4	57.1%	50	57.5%	45	40.5%
銀行	利用しない	1	14.3%	17	19.5%	35	31.5%
	利用した	6	85.7%	70	80.5%	76	68.5%
郵便局	利用しない	4	57.1%	25	28.7%	31	27.9%
	利用した	3	42.9%	62	71.3%	80	72.1%
個人医院	利用しない	6	85.7%	49	56.3%	63	56.8%
	利用した	1	14.3%	38	43.7%	48	43.2%
病院	利用しない	6	85.7%	57	65.5%	63	56.8%
	利用した	1	14.3%	30	34.5%	48	43.2%
デパート	利用しない	3	42.9%	62	71.3%	96	86.5%
	利用した	4	57.1%	25	28.7%	15	13.5%
大型商業施設	利用しない	3	42.9%	14	16.1%	35	31.5%
	利用した	4	57.1%	73	83.9%	76	68.5%
娯楽施設	利用しない	3	42.9%	72	82.8%	104	93.7%
	利用した	4	57.1%	15	17.2%	7	6.3%
映画館・劇場	利用しない	6	85.7%	69	79.3%	107	96.4%
	利用した	1	14.3%	18	20.7%	4	3.6%
アスレティッククラブ	利用しない	7	100.0%	86	98.9%	110	99.1%
	利用した	0	.0%	1	1.1%	1	.9%
公立体育館	利用しない	7	100.0%	82	94.3%	104	93.7%
	利用した	0	.0%	5	5.7%	7	6.3%
テーマパーク	利用しない	7	100.0%	81	93.1%	109	98.2%
	利用した	0	.0%	6	6.9%	2	1.8%
鉄道	利用しない	7	100.0%	73	83.9%	88	79.3%
	利用した	0	.0%	14	16.1%	23	20.7%
バス	利用しない	7	100.0%	72	82.8%	87	78.4%
	利用した	0	.0%	15	17.2%	24	21.6%
喫茶店	利用しない	6	85.7%	77	88.5%	103	92.8%
	利用した	1	14.3%	10	11.5%	8	7.2%
レストラン	利用しない	4	57.1%	48	55.2%	67	60.4%
	利用した	3	42.9%	39	44.8%	44	39.6%
ホテル・旅館	利用しない	7	100.0%	82	94.3%	101	91.0%
	利用した	0	.0%	5	5.7%	10	9.0%
神社・寺・教会	利用しない	7	100.0%	74	85.1%	88	79.3%
	利用した	0	.0%	13	14.9%	23	20.7%
公立図書館	利用しない	6	85.7%	67	77.0%	96	86.5%
	利用した	1	14.3%	20	23.0%	15	13.5%
公会堂・公民館	利用しない	7	100.0%	78	89.7%	90	81.1%
	利用した	0	.0%	9	10.3%	21	18.9%
その他	利用しない	7	100.0%	80	92.0%	104	93.7%
	利用した	0	.0%	7	8.0%	7	6.3%

施設利用について

浦本美香

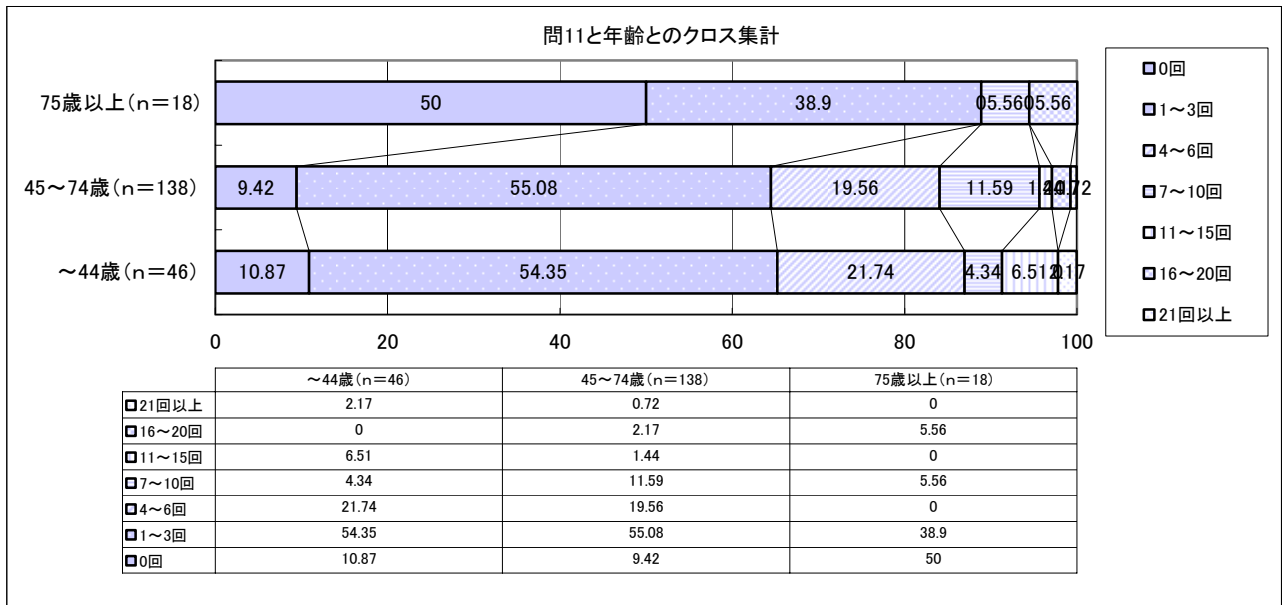
下記のグラフは、問 10「田川市の中心部にある商店街を月に何回程度利用しますか。」と年齢のクロス集計結果である。

田川市の中心部にある商店街には食料品や日用雑貨品を取り扱っている店舗が多数あるので、日常的な利用が見られるだろうと予測していた。しかし、すべての年代で商店街を月に一度も利用しない人が半数以上であった。特に、44 歳以下では 86.96%もの人が利用しておらず、次いで 45～74 歳の 65.44%の人が利用していないのである。一番利用している割合が高い 75 歳以上の人でも、月数回程度の利用に留まり、日常的に利用しているとは言えない。どの年代でも商店街の利用頻度は低いが、若い世代よりも高齢者の利用回数のほうが多いとすることができる。つまり、年齢が下がるにつれて商店街の利用回数も減少する傾向があるのである。このように、商店街の利用回数と年齢は関係性がある。同時に、全体的に見て田川市民の商店街離れが進んでいることが明らかになった。



次に、問 11「大型商業施設(メルクス、サンリブなど)を月に何回程度利用しますか。ここでは、田川市外にあるものも含めてお答えください。」と年齢との関係性を明らかにする。

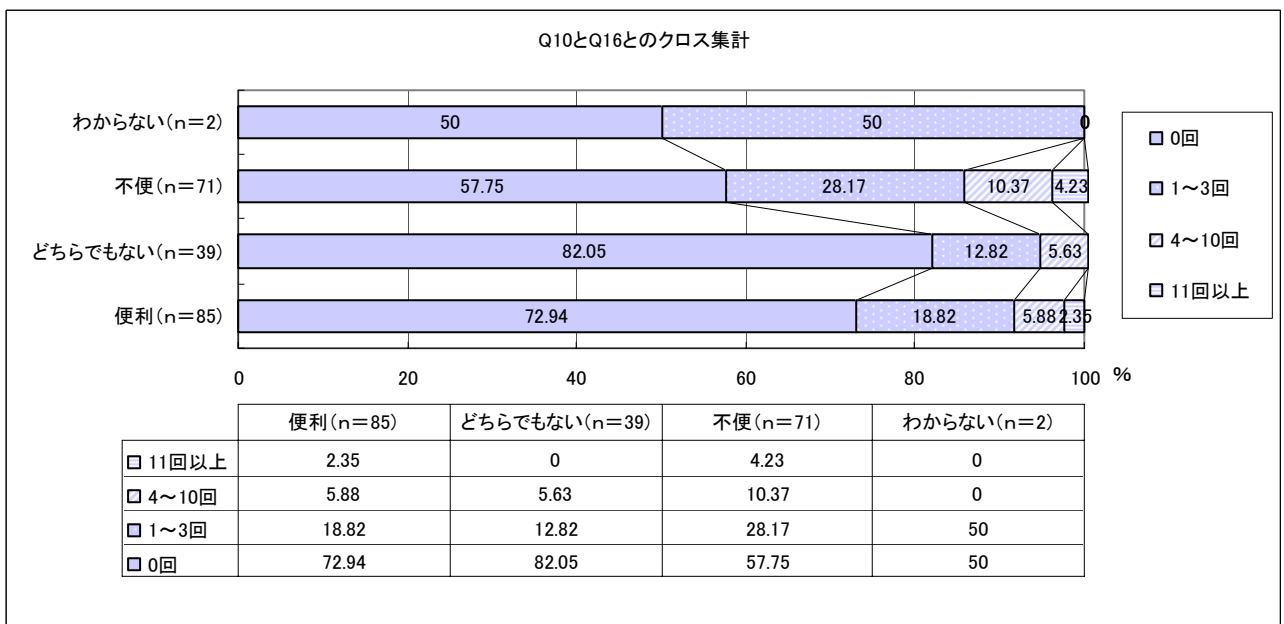
大型商業施設は、敷地内にレストランや映画館、若者向けのショッピングセンター等があり、また広い駐車場が常設してある。施設としては、自家用車を持っていれば少し距離が離れた場所からも来ることができるので若者や家族連れが利用しやすいのである。そのため、若者や家族を持っている年代である 44 歳以下の人々の 54.35%が、月に 1～3 回利用している。同様に 45～74 歳の人々の 55.08%が月に 1～3 回利用している。これは、週末に利用していることが予測できる。44 歳以下と 45～74 歳とでは、両者とも半数程度の人が月に 1～3 回、20%程度が月に 4～6 回、10%程度が 0 回の利用である。一方、75 歳以上では月に一度も利用しない人が 50%、1～3 回利用する人が 38.9%である。わずかではあるが 10 回程度利用している人もおり、利用するかしないかの両極端であった。高齢者よりも若者や中年層の人のほうが、大型商業施設の利用頻度が高いことが明らかになった。つまり、月の大型商業施設の利用頻度と年齢には関係性があると言える。



$X^2 = 46.2753$ $P = 0.0492$

そして、問 10「田川市の中心部にある商店街を月に何回程度利用しますか。」と問 16「田川市は、毎日の買い物や日常生活の面で便利ですか。」との関係性である。

田川市が日常生活の面で便利だと感じている人の 72.94%が商店街を全く利用しておらず、次いで 18.82%が月に 1~3 回、5.88%が月に 4~10 回の利用であった。一方、不便と感じる人の 57.75%が全く利用しておらず、月に 1~3 回の利用が 28.17%、月に 4~10 回の利用が 10.37%であった。つまり、商店街の利用頻度が高い人ほど田川市での生活に不便さを感じているのである。これは、利用頻度が高いがために商店街店舗への規模や品揃え等への要望や不満があると考えられる。年齢別の商店街利用頻度の調査でも明らかになったことであるが、田川市民の商店街離れが深刻化しているようである。だからこそ、市民の意見を積極的に取り入れ商店街を活性化させる試みが必要である。

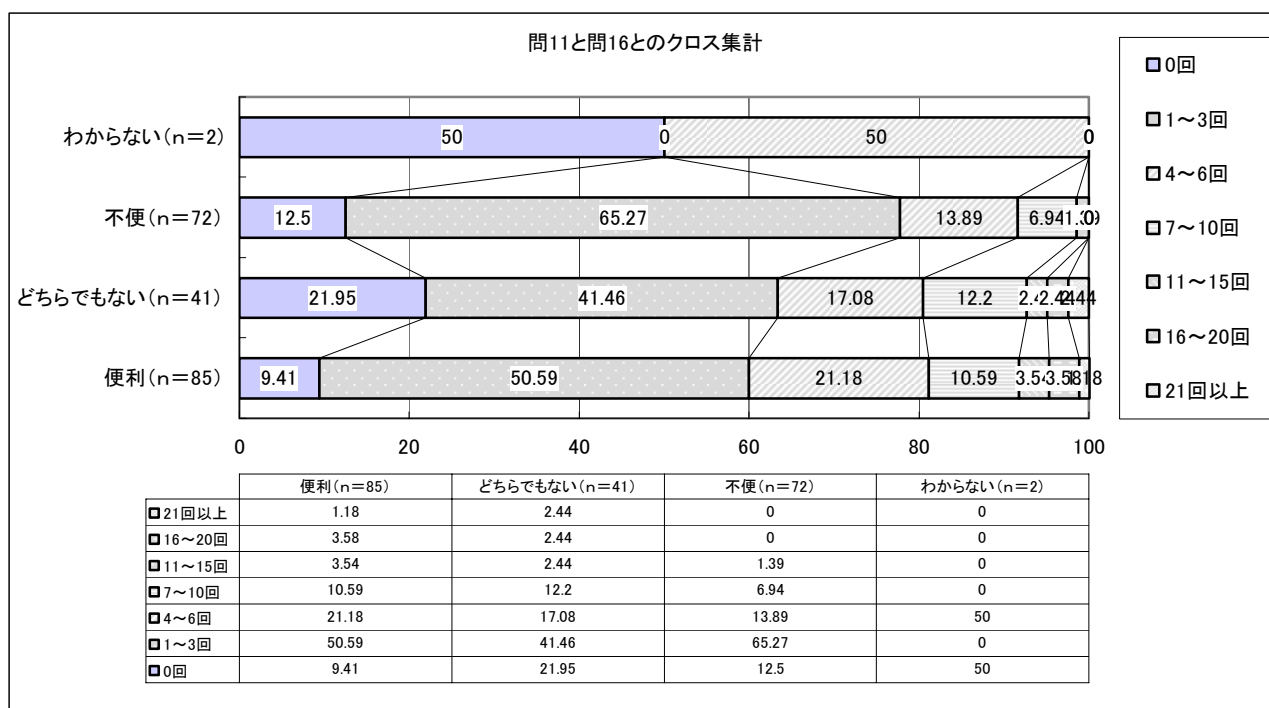


$X^2 = 38.7094$ $P = 0.029$

さらに、問 11「大型商業施設(メルクス、サンリブなど)を月に何回程度利用しますか。ここでは、田川市外にあるものも含めてお答えください。」と問 16「田川市は毎日の買い物や日常生活の面で便利ですか。」との関係性についてである。

田川市が買い物等の日常生活の面で便利と感じている人の 9.41%、便利とも不便とも感じていない人の 21.95%が大型商業施設を月に一度も利用していない。一方、田川市での買い物等の日常生活に不便さを感じている人の約 90%が月に 1 回以上大型商業施設を利用し、全く利用しない人は 12.5%に留まっている。田川市での日常生活をどのように感じようとも大型商業施設は利用する人が多いのである。これは、大型商業施設には食料品だけでなく品揃えが豊富なので近所のスーパー等とあわせて利用しているのだろう。

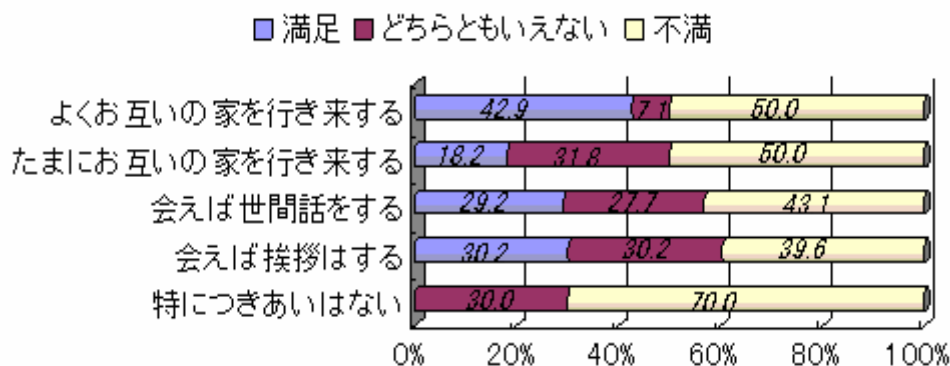
田川市が買い物等の日常の面で便利だと感じている人の多くは大型商業施設を利用していると予測していたが、市民の多くが利用しており、問 11 と問 16 の間には強い関係性はないと言える。



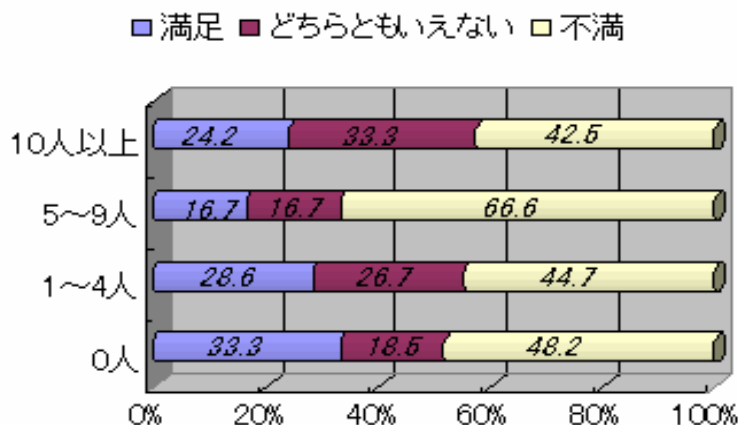
$X^2 = 55.8954$ $P = 0.2025$

これらを総合的に見ると、田川市民が田川市内での日常の買い物にどの程度満足しているかがわかる。年齢に関係なく多くの方が、普段の買い物は近所のスーパー、特にサンリブやメルクスで事足りているのだが高級品や嗜好品を買うとなると福岡市や北九州市まで出かけなければならないようである。また、若い人に限らず幅広い年代での田川市民の商店街離れが深刻化していることがわかる。せっかく利用している人でも不便さを感じている人が多いことが明らかになった。幅広い年代の市民が利用しやすい商店街づくりが求められているのである。

ふだんの近所付き合いの程度と総合的にみた生活満足度



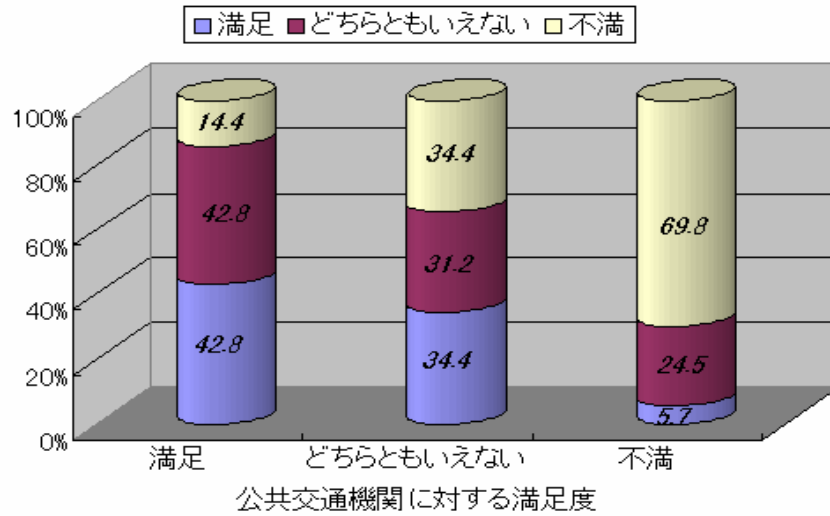
会えば話をする以上の付き合いをしている近所の人の人数と、総合的にみた生活満足度



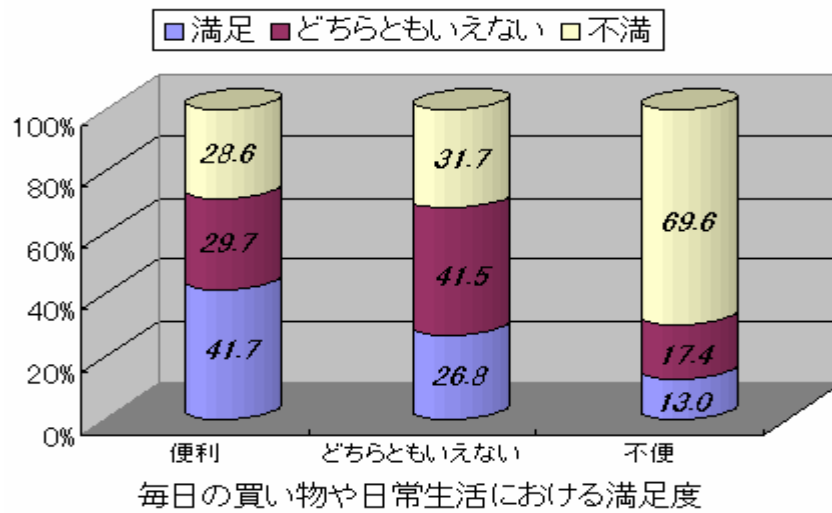
問 13 のふだんの近所付き合いの程度と、問 23 の総合的にみた田川市における生活満足度をクロス集計した結果、「よくお互いの家を行き来する」と答えた人の満足度がいちばん高く、「特につきあいはない」と答えた人の中で、「満足している」と答えた人はおらず、満足度も低かった。この結果から、ふだんから頻繁に近所付き合いをしている人の方が、近所付き合いがほとんどない人より、生活満足度が高いことが考えられる。

また、問 14 の会えば話をする以上の付き合いをしている近所の人の人数と、問 23 の総合的にみた田川市における生活満足度をクロス集計した結果、0人と答えた人の満足度がいちばん高く、人数が増えても満足度が高くなるということにはなかった。このことから、会えば話をする以上の近所付き合いをしている人の人数が、総合的にみた生活満足度に与える影響は少ないものと思われる。

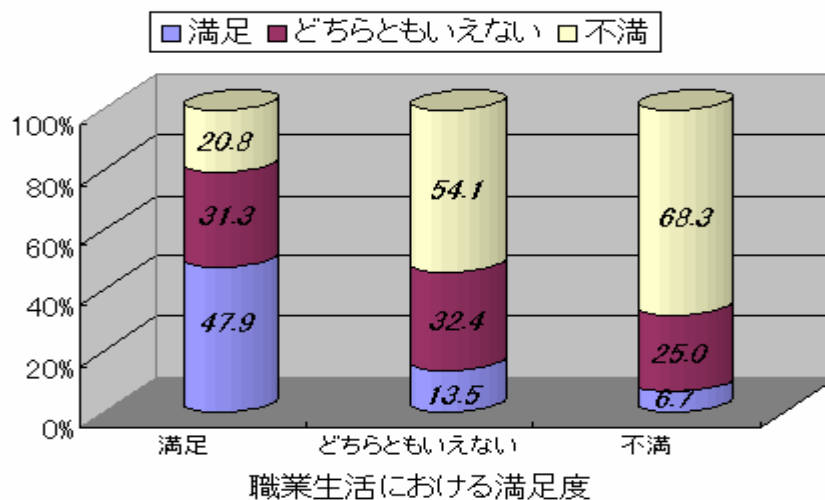
公共交通機関に対する満足度と総合的にみた満足度



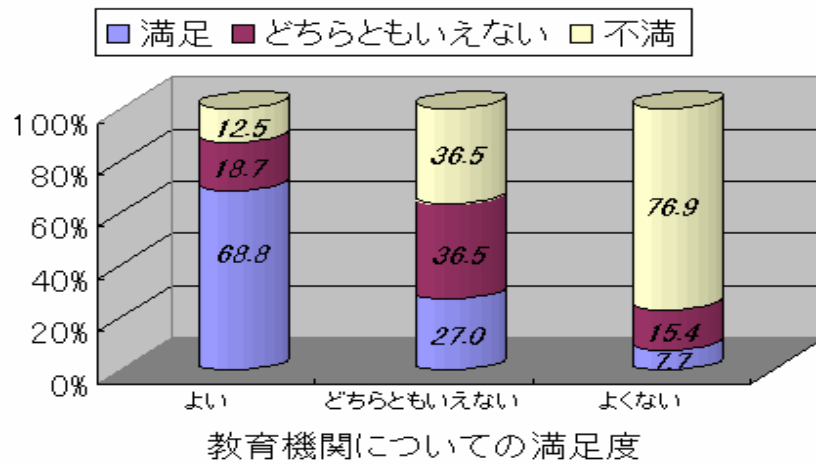
毎日の買い物や日常生活における便利度と総合的にみた満足度



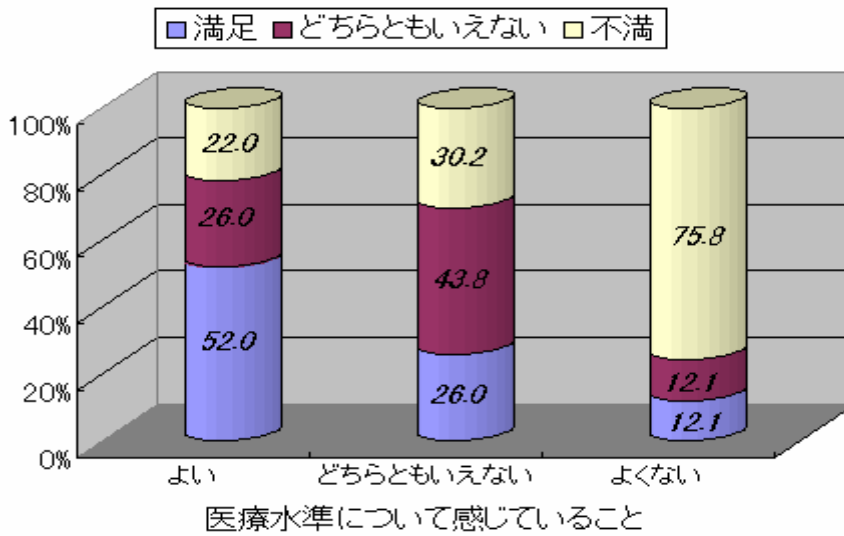
職業生活における便利度と総合的にみた満足度



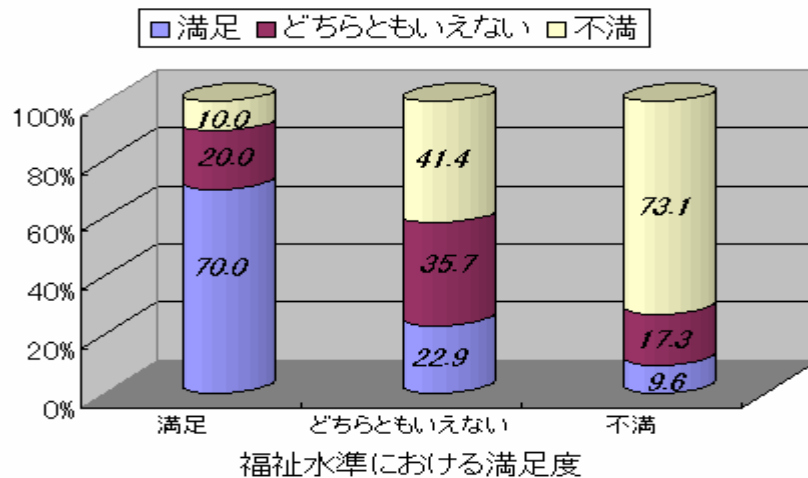
教育機関について感じていることと総合的にみた満足度



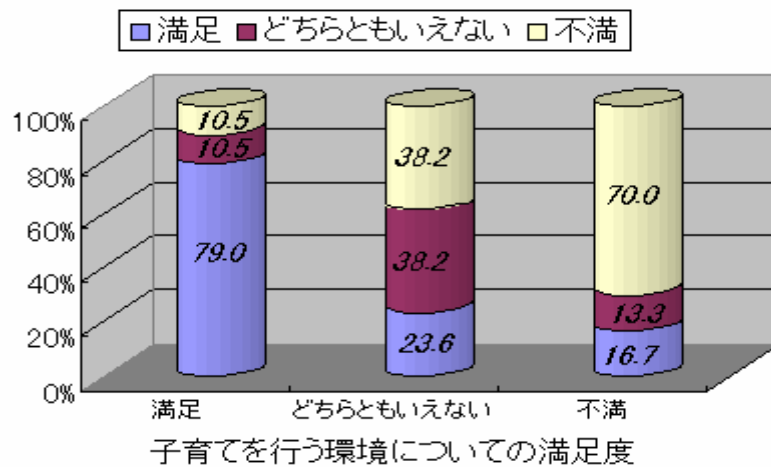
医療水準について感じていることと総合的にみた満足度



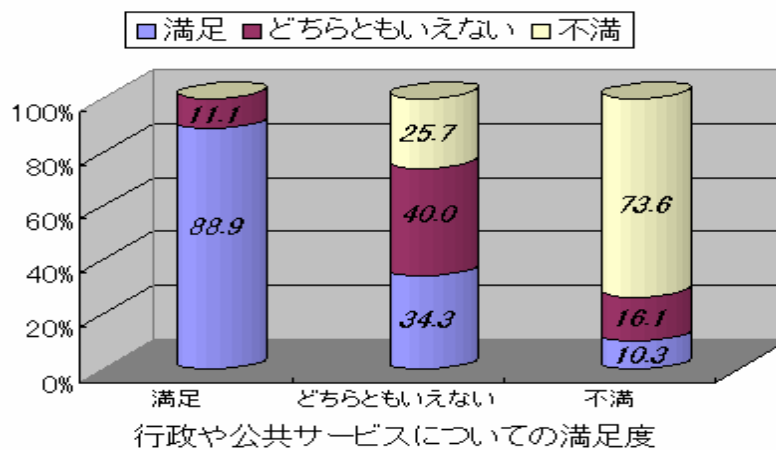
福祉水準における満足度と総合的にみた満足度



子育てを行う環境についての満足度と総合的にみた満足度



行政や公共サービスについての満足度と総合的にみた満足度



問 15 から問 22 までにおけるそれぞれの具体的な項目における満足度と、問 23 の総合的にみた生活満足度をクロス集計した結果である。それぞれの項目において、「満足」「やや満足」という回答を「満足」、「どちらともいえない」はそのまま、「やや不満」「不満」という回答を「不満」とした。この結果から、次のようなことが考えられる。

全体的に見てみると、それぞれの項目において「満足」と答えた人ほど、総合的にみた満足度にも「満足」と答えた割合が高く、「不満」と答えた人は、総合的にみた満足度も低く、「不満」と答えた人の割合が高くなっている。特に、問 22 の「行政や公共サービス」についての満足度などにおいて、この結果が顕著に表れている。

また、他の項目に比べて、「公共交通機関」「毎日の買い物や日常生活」「職業生活」における満足度とクロスさせた時の、総合的にみた満足度が低くなっている。このことから、「公共交通機関」「毎日の買い物や日常生活」「職業生活」における満足度の高さと、総合的にみた満足度との関連が、他の項目に比べて弱いことが考えられる。

田川の全体的満足度～交通面について～

谷野 友紀

私自身も田川で生活する中で気になっていた、公共交通機関の利便性を中心に田川の総合的満足度について考察していくことにする。

まず、私は、公共交通機関を利用するのは、運転の難しい高齢者の方や、自家用車を持たない人たちに多い。そして、その公共交通機関利用者が主に公共交通機関について、不満を持っており、そのことと、田川全体の満足度にも影響してくるのではないかと仮定した。

そこで、まず、Q1の生活でよく使う交通手段の中の自家用車・バス・JR・平成筑豊鉄道とQ15の田川の公共交通機関への満足度とをクロス集計した。その結果、どの集計も信頼性の低いものだったため、合併させて、再度カイ2乗値を計算してみた。

Q014自動車の使用＊Q15公共交通機関の満足度(サンプルサイズ=202)

度数 パーセント 行のパーセント	満足である	どちらでもない	不満である	わからない
自動車を使用しない	5 2.48 13.16	4 10.89 57.89	22 10.89 57.89	7 3.47 18.42
自動車を使用する	10 4.95 6.1	76 37.62 46.34	76 37.62 46.34	49 24.26 29.88

chi square= 14.5, p=0.002

Q014バスの利用＊Q15公共交通機関の満足度(サンプルサイズ=202)

度数 パーセント 行のパーセント	満足である	どちらでもない	不満である	わからない
バスを利用しない	10 4.95 5.92	27 13.37 15.98	77 38.12 45.56	55 27.23 32.54
バスを利用する	5 2.48 15.15	6 2.97 18.18	21 10.4 63.64	1 0.5 3.03

統計量	自由度	値	p値
X ² 乗値	3	13.7868	0.0032

JR・平成筑豊鉄道は、合併させた上でも信頼性が低い結果が出たため、自動車とバスのみを載せているが、結果としてはバスの利用の有無とほぼ同様な数値が出た。

これらの結果から、まったく予想していなかった結果が出た。「利用していないのでわからない。」という結果が2割程度あることも無視できることではないが、利用しない人々の約半分が田川の公共交通機関について不満をもっていることがわかった。公共交通機関を利用しているかいないかは、田川の公共交通機関への満足度にはほぼ関係がないということになる。

田川住民の半数、またそれ以上が、田川の公共交通機関に不満をもっているという結果となる。

そして、もうひとつの方法として、Q15田川の公共交通機関の満足度とQ23の田川の総合的満足度の結果をクロス集計してみた。しかし、その結果も信頼性の薄いものとなった。

そこで、次は、Q15公共交通機関の満足度とQ25今後田川に住み続けたいかどうか。という項目をクロス集計し、再度合併させて、カイ2乗値を求めた。

Q15公共交通機関の満足度とQ25今後田川に住み続けたいかどうか（サンプルサイズ=211）

度数 パーセント 行のパーセント	住み続けたい	転居したい	どちらともいえない
満足である	14 6.64 56.00	0 0.00 0.00	11 5.21 44.00
どちらともいえない	19 9.00 57.58	3 1.42 9.09	11 5.21 33.33
不満である	59 27.96 60.20	16 7.58 16.33	23 10.9 23.47
わからない	42 19.91 76.36	6 2.84 10.91	7 3.32 12.73

統計量	自由度	値	p値
X ² 乗値	6	14.9138	0.0209

この結果を見てみると、田川の公共交通機関に不満を持つ人の6割が、これからも田川に住み続けたいと答えていることがわかる。そして、転居したいと考えているのは約1割程度であるということがわかる。

最後に、Q23田川の総合的満足度とQ25今後田川に住み続けたいかどうかをクロス集計してみた。しかし、信頼性の薄い結果となったため、再度合併させ、カイ2乗値をもとめることにした。

Q23田川の総合的満足度 * Q25今後も田川に住みたいかどうか (サンプルサイズ=196)

度数 パーセント 行のパーセント	住みたい	転居したい	どちらともいえない
満足である	47 25.82 92.16	0.00 0.00 0.00	4 2.2 7.84
どちらともいえない	41 22.53 83.67	2 1.1 4.08	6 3.3 12.24
不満である	41 22.53 50.00	23 12.64 28.05	18 9.89 21.95

統計量	自由度	値	p 値
X ² 乗値	4	35.0181	<.0001

この結果で注目したいのは、総合的満足度で、不満と答えたにもかかわらず、住みたいという人が半数いるということである。

公共交通機関の満足度と田川の総合的満足度とをそれぞれ、今後田川に住みたいかどうか。とクロスさせ考察してきたが、両方の結果から得ることのできた答えは、田川に住む人々は、利便性を田川に住む基準として考えてないということである。

私は、最初に仮定していたことは、全て逆であったようである。公共交通機関を不便に感じている人々は、全体の6割以上であるが、その結果と田川の総合的満足度は、関係があまりないという結果になった。そして、一般的に考えると、利便性の悪い場所からは抜け出したいと思うものだとは私に考えていたが、それもまた違い、多くの田川住民が田川に住みたいと感じているということが分かった。

今回、訪問・郵送と田川住民の方々にアンケート調査をする中で、一番大きく感じたことは、田川住民の方々の田川への愛着心の強さである。

4年間田川に暮らしてみても、住民の方々と自分自身のギャップで驚く部分もあったが、その反面このような結果を得られて嬉しかった。

その、私自身も感じることでできた、田川住民の方々の田川への愛着心は、この田川の総合的満足度を超えるものであると感じた。

田川市民の生活における満足度

本田 奈緒子

問 15 から問 23 までは、田川市民の日常生活における満足度について質問した項目である。田川市出身の人と、田川市以外の市から転居してきた人では、満足度に違いがあるのではないかと考え、問 15 から問 23 までの質問と問 24 をクロス集計した。

クロス集計を行う際、カテゴリーの合併を行った。

<p>問 15 から問 23</p> <p>○たいへん便利(満足)・やや便利(満足) → 便利(満足)</p> <p>○どちらともいえない → どちらともいえない</p> <p>○たいへん不便(不満)・やや不便(不満) → 不便(不満)</p> <p>○わからない → わからない</p>	<p>問 24</p> <p>○生まれてからずっと田川市に住んでいる・五年以上離れたことがあるが、田川市の生まれ → 田川市の生まれ</p> <p>○5年未満住んでいる・5年～9年住んでいる → 10年未満住んでいる</p> <p>○10年以上住んでいる → 10年以上住んでいる</p>
--	--

上記のようなカテゴリーの合併を行い検定したところ、問 16 と問 24、問 22 と問 24 が関連があるとは言えなかった。

問 16 と 24 のクロス集計

度数	田川市の生まれ	10年未満住んでいる	10年以上住んでいる	合計
便利	35	7	43	85
どちらでもない	19	2	19	40
不便	39	6	26	71
合計	93	15	88	196

$$\chi^2 = 4.1 \quad P = 0.040$$

問 16 では、田川市での毎日の買い物や日常生活での便利かどうかを聞いている。田川市生まれの人は、田川市での生活環境に慣れているため、買い物等において便利だと思う傾向にあると考えた。しかし、他の市からの転居者と比べて、田川市生まれの人の方が不便に思っている人がやや多いくらいで、全体を見ると、田川市生まれかそうじゃないかの違いによる、便利度の差は大きいものではない。そのため、田川市生まれかどうかではなく、長年暮らしているかどうかに興味があるのではないかと考えた。問 24 と F2 をクロス集計したのを見ると、田川市生まれの人や、田川市に 10 年以上住んでいる人の大半が中高年層であり、10 年未満と答えた人で高齢者はいない。問 16 と F2 をクロス集計すると、不便と答えた人は中高年層に多く、買い物の際の移動や日常生活に必要な移動等において不便を感じているのではないかと思われる。

問 22 と問 24

度数	田川市の生まれ	10 年未満住んでいる	10 年以上住んでいる	合計
満足	9	0	9	18
どちらでもない	32	6	34	72
不満	45	9	33	87
わからない	6	0	13	19
合計	92	15	81	196

問 22 では、田川市の行政や公共サービスについての満足度を聞いている。全体の 3 割強がどちらでもないと答えているが、満足であると答えている人はわずかであり、不満を抱えている人が多い。田川市生まれの人とそうでない人の満足度の違いというのは、大きな

差は見られない。しかし、10年未満住んでいる人の中で、満足していると答えた人はおらず、転居する前に住んでいた地域と比べて、行政やサービスが不十分であると感じているのではないだろうか。

これに関連して、居住年数を問わず、行政や公共サービスに対して不満と答えている人が多いので、総合的な田川市における満足度にどのように影響しているかを調べてみた。

問 22 と問 23

度数	総合的に見て満足	どちらでもない	総合的に見て不満	合計
満足	16	2	0	18
どちらでもない	24	28	18	70
不満	9	14	64	87
合計	49	44	82	175

統計量	自由度	値	p 値
χ^2 乗値	4	73.2508	<.0001
尤度比 χ^2 乗値	4	75.1349	<.0001
Mantel-Haenszel の χ^2 乗値	1	60.2770	<.0001
ϕ 係数		0.6470	
一致係数		0.5432	
Cramer の V 統計量		0.4575	

サンプルサイズ = 175

問 23 は総合的な田川市における満足度だが、田川市の行政や公共サービスに対して満足と答えた人のほとんどは総合的にも満足している。また、行政や公共サービスに対して不満だと答えた人は、総合的に見ても不満を持っている。行政や公共サービスが生活の上での満足度に影響し、さらに市民の生活において重要な位置を占めていると思われる。

田川市が出身地であることによって、愛着という観点からみても、田川市における生活面での満足度は高いと思われた。しかし、実際は出身地の違いによる満足度の差はあまり見られず、長い期間田川市に住んでいるかどうか、満足度に影響していると考えられる。

また、満足度の全体をみると、買い物や生活の面といった、ある程度自分で動ける面では満足していると答えている人が多いが、福祉や子育ての環境や、行政や公共サービス等、制度上の問題もあるものに対しては、不満を持っている人が多い。

田川市民の田川市に対する愛着度を調べる

河野 ちず

今回、自分は、田川市民の田川市への満足度の調査を通して、「田川市民の人達が田川市にどれほど愛着を持っているか」を、アンケートの結果から探る。

愛着度を調べるということで、自分が1番のベースに持ってきたものが、[問 25]「あなたはずっと田川に住み続けたいですか。」という質問のアンケート結果である。以下にその結果を表にして示す。

Q25 あなたはずっと田川に住み続けたいですか。	
住み続けたい	52, 3(%)
当分は住んでいたい	13, 89
市内で転居したい	0, 93
市外に転出したい	12, 04
どちらともいえない	13, 43
分からない	6, 94
無回答	0, 46
計	100

そして、この[問 25]の[補問]「あなたがそのようにお考えになるのはなぜですか。」にあった自由回答を参考にしてみたところ、田川市に住み続けようと思う主な理由としては、「持ち家があるから」、「親族・友人がいるから」、「住み慣れたところだから」、等が多くあがっていた。そこで、これらの理由を考慮し、田川市への愛着度をはかる上で関連のありそうな質問項目を、それぞれクロス集計した。まず、最初に掛け合わせたのが、[問 24]「あなたは田川市に何年住んでいますか。」という項目である。まず、そのアンケート結果を示す。

Q24 あなたは田川市に何年住んでいますか。	%
生まれてからずっと田川に住んでいる	36, 57
5年以上離れたことがあるが、田川の生まれ	9, 72
5年未満	3, 24
5年～9年	2, 78
10年以上	44, 91
無回答	2, 78
計	100

[問 25]×[問 24]のクロス集計結果

Q25 / Q24	1	2	3	4	5
住み続けたい／当分は住んでいたい	62	13	2	3	67
市内で転居したい	1	2	0	0	1
市外に転出したい	4	3	4	2	13

1 生まれてからずっと田川に住んでいる 2 5年以上離れたことがあるが田川の生まれ
3 5年未満 4 5年～9年 5 10年以上

田川での在住年数が長いほど、田川市への愛着度が高まっているのか。また、田川市以外での地域の在住経験が、田川市への満足度、そして愛着度にかかわってくるかどうかを探ってみようという目的からのクロス集計であった。集計結果としては、 $P = 0.001$ と何らかの関連が見られたのかもしれないが、期待度数が5より小さくなっているセルが多く、あまり妥当な検定ではないため、この調査結果からは、在住年数と愛着度の関係を見出すことはできなかった。

また、田川市に住み続ける理由として最も多かった理由の「持ち家があるから」を参考に、次は[F 6]「あなたが属する世帯のお住まいの形態は？」と、[問 25]を掛け合わせ、持ち家と賃貸住宅で、田川に住み続けたいかどうかに差がみられるかを調べてみる。

[問 25]×[F 6]のクロス集計結果

Q25 / F 6	持ち家	賃貸住宅
住み続けたい／当分は住んでいたい	116	32
市内で転居したい	2	2
市外に転出したい	18	9

この集計結果からは、 $p = 0.20$ と、持ち家か賃貸住宅かで、田川市への愛着度に対する差は見出せなかった。

続いては、親族・友人が近くにいることが愛着度に与える影響を見るために、[問 25]と[問 13]、のクロス集計結果を示す。

[問 25]×[問 13]のクロス集計結果

Q25 / Q13	1	2	3
住み続けたい／当分は住んでいたい	26	47	60
市内で転居したい	0	1	2
市外に転出したい	5	2	18

- 1 よくお互いの家を行き来する／たまにお互いの家を行き来する
 2 会えば世間話をする 3 会えば挨拶はする／特に付き合いはない
 p=0.064

この結果からは、近所づきあいのあまりない人ほど転出を望んでいる傾向が見受けられる。友人・知人が近くにいるかどうか、その地に住み続けることに与える影響は、少なからずあるようだ。

加えて、田川市に対する満足度が愛着度に与える影響を見るため[問 25]と[問 23]のクロス集計をみる。

[問 25]×[問 23]のクロス集計結果

Q25 / Q23	1	2	3
住み続けたい／当分は住んでいたい	3	80	67
市内で転居したい	1	3	0
市外に転出したい	1	21	6

- 1 大変満足／やや満足 2 どちらでもない 3 やや不満／たいへん不満
 p=0.06

このクロス集計結果からは、田川に不満を感じている人ほど、市外に転出したいと思っている傾向が多少みられたが、不満を感じていながらも、住み続けていこうとする人もかなり見受けられる。不満がありつつも住み続ける傾向が愛着度を表しているかどうかの判断に迷うところであるが、この傾向が愛着度と全く関係がないとはいえないのではないかと思う。

この他にも、[問 25]と[問 14]、[問 7-8]、[問 7-7]、[F 2]、等、のクロス集計を行って見たが、有意な関係は見出せなかった。

ここで、改めて、[問 25]の補問を吟味してみようと思う。そもそも愛着とは、「慣れ親しんでいる人や物に心をひかれ、はなれがたく感ずること」、である。補問の中で、田川が好きという回答は4つ、その他、田川に住み続けたい理由が田川に対する肯定的な意見であるものは、全体の1～2割程度であった。どちらかといえば、住宅、土地、仕事、人間関係など、生活の基盤が田川に既にできており、止むを得ない理由から住み続けることを選んでいる人が多い印象を受けた。

加えて、上記のクロス集計結果をみても、有意な関係のある項目同士はあまり見出せず、今回の調査の質問項目、調査対象の範囲があまり適切でなかったのかもしれないとも考える。

愛着度をどのような指標ではかり、数値として挙げていくのか、その難しさを感じさせられた今回の調査であった。

田川市への愛着と生活満足度の関係について

田口智子

田川市にこれからも住みたいのかどうかは田川市での生活の満足度に関わっていると思うので、Q25を中心に関係のある項目についてクロス集計し、その結果について考察した。また、それらの項目が田川市への愛着とどのようにかわりがあるのかも考えたい。

Q13からQ24までの全てをQ25とクロス集計してみた。その中で関係がありそうなものをより結果がはっきりと出るように工夫して新たに結果を出した。データをより結果がはっきりと出るように変換する際に[Q25→live]、[Q13→friends]、[Q14→number]、[Q16→life]、[Q17→work]、[Q23→m]とし、また、回答の選択肢の中で意味の近いものはひとまとめにした。新たに求めた結果の中でP値が低く、関係があると思われる結果が見られたのはQ13 * Q25、Q17 * Q25、Q23 * Q25であった。以下の表が結果である。

表：live * friends

live	friends			
度数				
行のパーセント	つきあい	挨拶や話	互いの家	合計
	はない	をする	を行き来	
			する	
わからない	3	32	7	42
	7.14	76.19	16.67	
住みたい	3	104	26	133
	2.26	78.20	19.55	
転居したい	5	18	5	28
	17.86	64.29	17.86	
合計	11	154	38	203

欠損値の度数 = 26

live と friends の統計量

統計量	自由度	値	p 値
χ^2 乗値	4	11.4259	0.0222
Cramer の V 統計量		0.1678	

WARNING: セルの 22% において、期待度数が 5 より小さくなっています。 χ^2 乗検定は妥当な検定でないと思われます。

有効なサンプルサイズ = 203

WARNING: データの 11% が欠損値です。

表：live * work

live	work			
度数				
行のパーセント	どち	不便	便利	合計
わからない	21	14	5	40
	52.50	35.00	12.50	
住みたい	58	27	43	128
	45.31	21.09	33.59	
転居したい	6	19	2	27
	22.22	70.37	7.41	
合計	85	60	50	195

欠損値の度数 = 34

live と work の統計量

統計量	自由度	値	p 値
χ^2 乗値	4	30.8842	<.0001
Cramer の V 統計量		0.2814	

有効なサンプルサイズ = 195

WARNING: データの 15% が欠損値です。

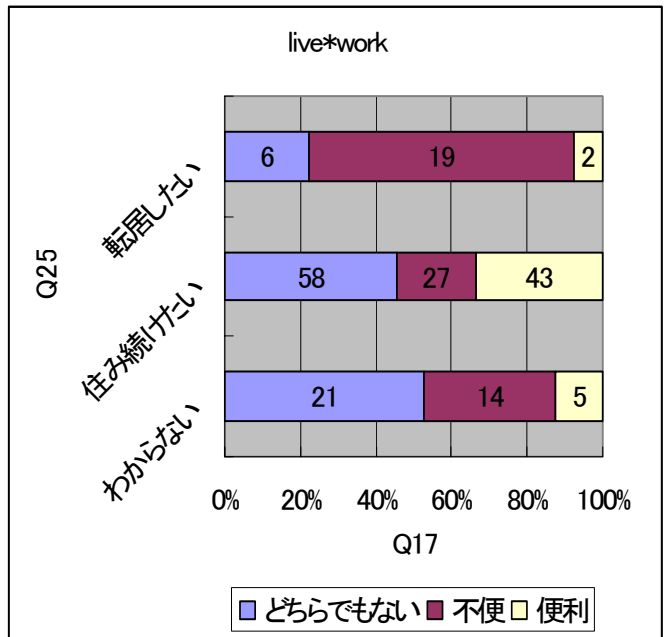
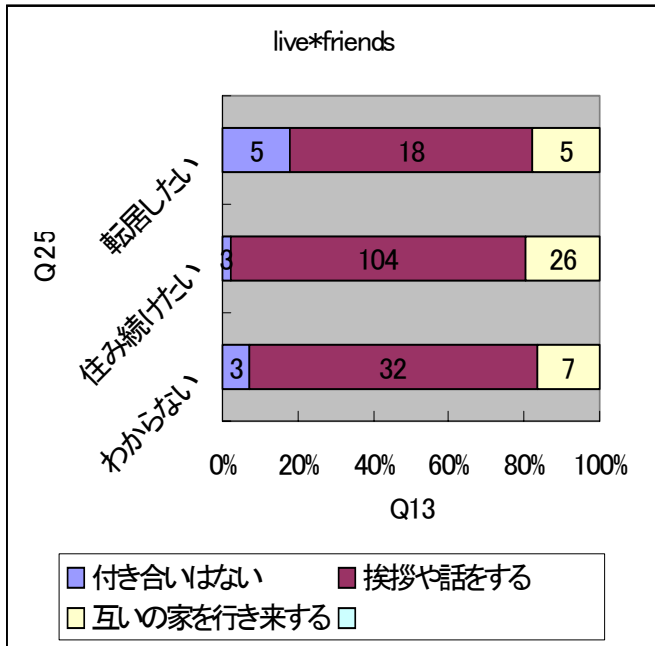


表 : live * m

live	m			合計
度数	どちら	不満	満足	
わからない	12	23	7	42
	28.57	54.76	16.67	
住み続けたい	47	39	47	133
	35.34	29.32	35.34	
転居したい	3	25	0	28
	10.71	89.29	0.00	
合計	62	87	54	203

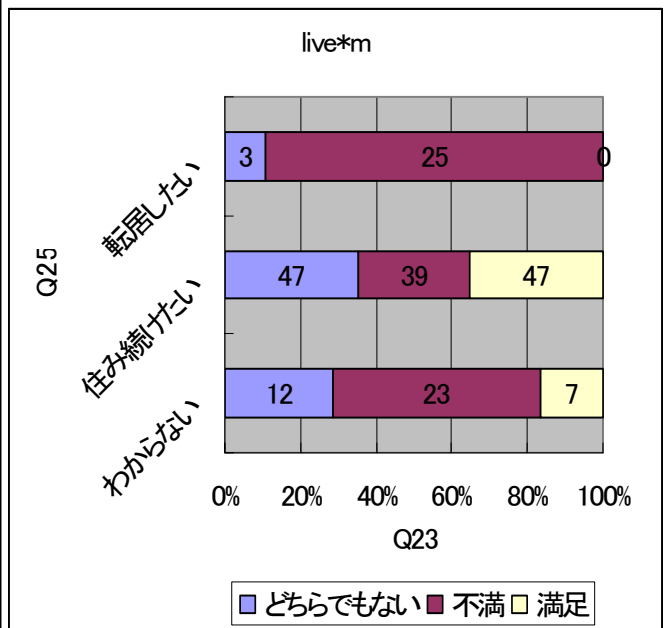
欠損値の度数 = 26

live と m の統計量

統計量	自由度	値	p 値
χ^2 乗値	4	38.6392	<.0001
Cramer の V 統計量		0.3085	

有効なサンプルサイズ = 203

WARNING: データの 11% が欠損値です。



上の3つの結果のほかにも、Q14*Q25、Q16*Q25も結果を出してみたが、P値が高かったのでも上の3つを主体として考えたいと思う。

私はQ25の結果にはQ24の居住年数が大きく関わっていると思っていたが、Q24 * Q25のクロス集計をしてみたがP値が高く、結果が信頼性に欠けるという結果が出てしまった。Q24*Q25では居住年数が長くなると田川市に愛着が生まれ、多少の不便はあってもそこでの生活に満足するのではないかと考えるのは示せなくなったので、それでは実際に田川市にこれからも住み続けることの理由は何なのかを全ての満足度の項目から考えることにした。Q25の補問で「住み慣れた環境であるから」、「親戚・友人がいるから」、「職場があるから」、「土地や家がある」と答える方が多かったのでも、それぞれの満足度を聞いた項目と近所付き合いについて尋ねた項目について調べた。

Q13*Q25では、やはり友人が近くにいて生活の中で関わっている人のほうがこれからも今のところに住み続けたいと思っていることが分かる。また、この質問では友人についてしか尋ねていないので、親戚が近くに住んでいるかを聞いていたら結果に変化が出たかもしれないと思う。このことより、自分の知り合いが近くに住んでいるかどうかはこれからもその土地で生活したいかという考えに影響を与えていると考えることができる。また、Q14の人数をQ25とクロス集計してみたが関係があるということを示す結果は出ず、友人の人数が住み続けるかどうかの意思に関係があるとは考えにくかった。

Q17*Q25では、生活が仕事面において便利かどうかについてどちらともいえないと答えた人が多かったが、今の生活が便利だと答えた人の多くがこれからも田川に住み続けたいと思っていることが分かる。今住んでいるところから転居したいとはっきりと思っている人が少ないことも分かる。このことより、仕事の面において便利かどうかは今の場所に住み続けるかに大きく影響していると考えられる。

Q23*Q25では、生活に不満を感じている人は多いが、どちらともいえないと答えている人も多い。しかし、生活に満足している、満足していないに関わらず、多くの方がこれからも今の所に住み続けたいと答えていることも分かる。このことから現在の生活に満足している、満足していないは今の所に住み続けたいという考え方に影響を与えているとは考えにくい。

以上の結果から、現在の生活の満足度がこれからも田川に住み続けるかに影響を及ぼしているとは考えにくい。満足度よりも親戚や友人が近くにいて生活を楽しいものにできるかどうかや家や仕事の面で今の生活が便利であるかなどが影響を与えているようである。また、愛着度という言葉は分かりにくいですが私は愛着とは「好き」であることだと思う。田川への愛着は人それぞれ違うところに興味が向くと思うので一概に理由を示すことは難しいが、今回関係があるという結果が出たものが愛着につながるものだと思う。自分にとって重要な人や自分で立てた家が私たちに愛着を持たせ、その愛着が田川に住み続けたいという思いにつながっていると思う。

田川市民の田川市への愛着度

祝迫はる香

2005年12月に実施した「田川市民の地域生活における満足度に関する調査」の結果をもとに、田川市民の田川市への愛着度について分析した。

仮説1：田川市に長年住み続けている人は、田川市に愛着を持っているため、今後も田川市で生活することを望んでいるのではないか。

仮説2：田川市での生活に満足している人は、今後も田川市に住み続けたいと考えているのではないか。

1、田川市の在住年数と今後の居住地の関係

問24と、問25をクロス集計し結果を分析したい。

問24、あなたは田川市に何年住んでいますか。

- (1) 生まれてからずっと (2) 5年以上離れたことがあるが、田川市の生まれ
(3) 5年未満 (4) 5年から9年 (5) 10年以上

問25、あなたはずっと田川市に住み続けたいですか。

- (1) 住み続けたい (2) 当分は住んでいたい (3) 市内で転居したい
(4) 市外に転出したい (5) どちらともいえない (6) わからない

問24・問25のクロス集計と統計量

	田川市内に住み続けたい (問25の1・2・3)	田川市外に転出したい (問25の4)	合計
田川市出身 (問24の1・2)	74 92.50%	6 7.50%	80
田川市に1～9年住んでいる (問24の3・4)	4 40.00%	6 60.00%	10
田川市に10年以上住んでいる (問24の5)	64 84.21%	12 15.79%	76
合計	142	24	166

	値	p 値
χ^2 乗値	20.01	<.0001

田川市出身者や、田川市に10年以上住んでいる人は、市内に住み続けたいという人がどちらも80%以上で、市外への転出を希望する人よりも、今後も田川市に住み続けたいと考えている人が圧倒的に多いことがわかる。特に、田川市に愛着を持っていると考えられる田川市出身者は9割以上が今後も田川市で生活することを望んでおり、愛着を持っている人ほど市内で生活したいと考えているといえるであろう。

また、わずかではあるが、田川市在住年数が1～9年と比較的短い人は市外への転出を希望する傾向がみられる。

2、生活満足度と今後の居住地について

問23と、問25をクロス集計し結果を分析したい。

問23、総合的にみた田川市における生活についてどのように感じていますか。

- (1) たいへん満足 (2) やや満足 (3) どちらともいえない
(4) やや不満 (5) とても不満 (6) わからない

問25、あなたはずっと田川市に住み続けたいですか。

- (1) 住み続けたい (2) 当分は住んでいたい (3) 市内で転居したい
(4) 市外に転出したい (5) どちらともいえない (6) わからない

問23と問25のクロス集計と統計量

	田川市内に住み 続けたい (問25の1・ 2・3)	田川市外に転出 したい (問25の4)	どちらともい えない (問25の5)	合計
満足 (問23の1・2)	47 92.16%	0 0.00%	4 7.84%	51
どちらともいえない (問23の3)	41 83.67%	2 4.08%	6 12.24%	49
不満 (問23の4・5)	41 50.00%	23 28.05%	18 21.95%	82
合計	129	25	28	182

	値	p 値
χ^2 乗値	36.49	<.0001

今後田川市内に住み続けたいと考えている人の場合、田川市での生活に満足している人と不満を感じている人の数に大きな差はない。しかし、割合を見ると満足感を持っている人の90%以上が市内に住み続けたいと答えているのに対し、不満を感じている人は半数の50%にとどまっており、大きな差があることがわかる。

しかし、市外に転出したいと考えている人で田川市での生活に満足している人はおらず、市外への転出を望んでいる人は、田川市での生活に不満を感じているといえる結果になった。

A 集計結果表

問 1		性別				合計	
		男		女		度数	%
		度数	%	度数	%		
利用する交通機関	自転車	11	11.7	11	8.2	22	9.6
	バイク	5	5.3	5	3.7	10	4.4
	自家用車	83	88.3	103	76.9	186	81.6
	バス	14	14.9	27	20.1	41	18.0
	JR	9	9.6	9	6.7	18	7.9
	平成筑豊鉄道	7	7.4	10	7.5	17	7.5
	タクシー	8	8.5	14	10.4	22	9.6
	その他	0	.0	1	.7	1	.4
合計 (回答者数)		94	100.0	134	100.0	228	100.0

問 2 (1)		性別				合計	
		男		女		度数	%
		度数	%	度数	%		
バス停までの時間 (分)	1	8	9.8%	5	4.8%	13	7.0%
	2	10	12.2%	7	6.7%	17	9.1%
	3	9	11.0%	12	11.4%	21	11.2%
	4	1	1.2%	0	.0%	1	.5%
	5	18	22.0%	32	30.5%	50	26.7%
	6	2	2.4%	1	1.0%	3	1.6%
	7	4	4.9%	3	2.9%	7	3.7%
	8	4	4.9%	4	3.8%	8	4.3%
	10	17	20.7%	21	20.0%	38	20.3%
	12	2	2.4%	2	1.9%	4	2.1%
	13	1	1.2%	1	1.0%	2	1.1%
	15	5	6.1%	11	10.5%	16	8.6%
	20	1	1.2%	4	3.8%	5	2.7%
	30	0	.0%	1	1.0%	1	.5%
	40	0	.0%	1	1.0%	1	.5%
合計		82	100.0%	105	100.0%	187	100.0%

問2 (2)		性別				合計	
		男		女		度数	%
		度数	%	度数	%		
駅までの時間 (分)	1	1	1.2%	1	.9%	2	1.0%
	2	4	4.9%	0	.0%	4	2.1%
	3	4	4.9%	2	1.8%	6	3.1%
	4	0	.0%	1	.9%	1	.5%
	5	5	6.1%	10	8.9%	15	7.7%
	7	4	4.9%	1	.9%	5	2.6%
	8	0	.0%	2	1.8%	2	1.0%
	9	1	1.2%	0	.0%	1	.5%
	10	12	14.6%	26	23.2%	38	19.6%
	12	1	1.2%	2	1.8%	3	1.5%
	13	2	2.4%	0	.0%	2	1.0%
	14	1	1.2%	0	.0%	1	.5%
	15	16	19.5%	22	19.6%	38	19.6%
	18	1	1.2%	0	.0%	1	.5%
	20	10	12.2%	21	18.8%	31	16.0%
	25	3	3.7%	6	5.4%	9	4.6%
	30	8	9.8%	13	11.6%	21	10.8%
	35	1	1.2%	1	.9%	2	1.0%
	40	3	3.7%	2	1.8%	5	2.6%
	45	1	1.2%	0	.0%	1	.5%
50	1	1.2%	2	1.8%	3	1.5%	
60	2	2.4%	0	.0%	2	1.0%	
80	1	1.2%	0	.0%	1	.5%	
合計		82	100.0%	112	100.0%	194	100.0%

問3		性別				合計	
		男		女		度数	%
		度数	%	度数	%		
通勤・通学時間 (分)	1	1	2.5%	0	.0%	1	1.1%
	3	0	.0%	1	2.1%	1	1.1%
	5	2	5.0%	7	14.6%	9	10.2%
	7	0	.0%	2	4.2%	2	2.3%
	10	4	10.0%	10	20.8%	14	15.9%
	12	2	5.0%	0	.0%	2	2.3%
	15	5	12.5%	11	22.9%	16	18.2%
	20	4	10.0%	7	14.6%	11	12.5%
	25	4	10.0%	2	4.2%	6	6.8%
	30	7	17.5%	2	4.2%	9	10.2%
	35	1	2.5%	1	2.1%	2	2.3%
	40	1	2.5%	3	6.3%	4	4.5%
	50	0	.0%	1	2.1%	1	1.1%
	60	5	12.5%	0	.0%	5	5.7%
	70	1	2.5%	0	.0%	1	1.1%
	90	0	.0%	1	2.1%	1	1.1%
100	1	2.5%	0	.0%	1	1.1%	
120	2	5.0%	0	.0%	2	2.3%	
合計		40	100.0%	48	100.0%	88	100.0%
通勤地・通学地	田川市内	16	40.0%	37	74.0%	53	58.9%
	市外	24	60.0%	13	26.0%	37	41.1%
合計		40	100.0%	50	100.0%	90	100.0%

問 4		性別				合計	
		男		女		度数	%
		度数	%	度数	%		
よく利用する公共の場	近所の広場・公園	19	20.7	15	11.0	34	14.9
	個人商店・コンビニ・スーパー	81	88.0	121	89.0	202	88.6
	書店	45	48.9	58	42.6	103	45.2
	銀行	57	62.0	107	78.7	164	71.9
	郵便局	58	63.0	104	76.5	162	71.1
	個人医院	34	37.0	68	50.0	102	44.7
	病院	36	39.1	59	43.4	95	41.7
	デパート	11	12.0	33	24.3	44	19.3
	大型商業施設	63	68.5	102	75.0	165	72.4
	娯楽施設	8	8.7	20	14.7	28	12.3
	映画館・劇場	7	7.6	16	11.8	23	10.1
	アスレティッククラブ	1	1.1	1	.7	2	.9
	公立体育館	6	6.5	6	4.4	12	5.3
	テーマパーク	1	1.1	7	5.1	8	3.5
	鉄道	11	12.0	26	19.1	37	16.2
	バス	14	15.2	33	24.3	47	20.6
	喫茶店	6	6.5	13	9.6	19	8.3
	レストラン	40	43.5	52	38.2	92	40.4
	ホテル・旅館	3	3.3	14	10.3	17	7.5
	神社・寺・教会	23	25.0	20	14.7	43	18.9
公立図書館	12	13.0	24	17.6	36	15.8	
公会堂・公民館	16	17.4	19	14.0	35	15.4	
その他	11	12.0	6	4.4	17	7.5	
回答者数		92	100.0	136	100.0	228	100.0

問 5		性別				合計	
		男		女		度数	%
		度数	%	度数	%		
いつもよく利用する公共の場 (3箇所以内)	近所の広場・公園	12	13.3	5	3.8	17	7.7
	個人商店・コンビニ・スーパー	65	72.2	104	79.4	169	76.5
	書店	16	17.8	20	15.3	36	16.3
	銀行	24	26.7	46	35.1	70	31.7
	郵便局	20	22.2	34	26.0	54	24.4
	個人医院	17	18.9	21	16.0	38	17.2
	病院	17	18.9	23	17.6	40	18.1
	デパート	1	1.1	4	3.1	5	2.3
	大型商業施設	30	33.3	56	42.7	86	38.9
	娯楽施設	4	4.4	3	2.3	7	3.2
	映画館・劇場	1	1.1	5	3.8	6	2.7
	公立体育館	2	2.2	3	2.3	5	2.3
	鉄道	4	4.4	1	.8	5	2.3
	バス	5	5.6	6	4.6	11	5.0
	喫茶店	0	.0	1	.8	1	.5
	レストラン(食堂)	6	6.7	12	9.2	18	8.1
	神社・寺・教会	2	2.2	4	3.1	6	2.7
	公立図書館	6	6.7	8	6.1	14	6.3
	公会堂・公民館	7	7.8	6	4.6	13	5.9
	その他	0	.0	1	.8	1	.5
回答者数		90	100.0	131	100.0	221	100.0

問 6		性別				合計	
		男		女		度数	%
		度数	%	度数	%		
通勤以外の外出	買い物	78	83.9	127	94.1	205	89.9
	散歩	32	34.4	25	18.5	57	25.0
	病院	43	46.2	67	49.6	110	48.2
	遊び	46	49.5	38	28.1	84	36.8
	習い事	4	4.3	27	20.0	31	13.6
	ボランティア	7	7.5	7	5.2	14	6.1
	学校の送り迎え	8	8.6	16	11.9	24	10.5
	子供や孫に会う	9	9.7	8	5.9	17	7.5
	その他	12	12.9	12	8.9	24	10.5
回答者数		93	100.0	135	100.0	228	100.0

問 7		性別				合計	
		男		女		度数	%
		度数	%	度数	%		
便利な面	買い物	47	70.1	60	70.6	107	70.4
	通学	7	10.4	13	15.3	20	13.2
	通勤	18	26.9	21	24.7	39	25.7
	商業施設の利用	20	29.9	20	23.5	40	26.3
	娯楽施設の利用	1	1.5	6	7.1	7	4.6
	交通の便	22	32.8	23	27.1	45	29.6
	公園の利用	2	3.0	3	3.5	5	3.3
	人付き合い	21	31.3	17	20.0	38	25.0
	その他	4	6.0	3	3.5	7	4.6
回答者数		67	100.0	85	100.0	152	100.0

問 8		性別				合計	
		男		女		度数	%
		度数	%	度数	%		
不便な面	買い物	16	29.1	31	36.0	47	33.3
	通学	0	.0	5	5.8	5	3.5
	通勤	9	16.4	13	15.1	22	15.6
	商業施設の利用	10	18.2	20	23.3	30	21.3
	娯楽施設の利用	19	34.5	23	26.7	42	29.8
	交通の便	34	61.8	57	66.3	91	64.5
	公園の利用	12	21.8	14	16.3	26	18.4
	人付き合い	5	9.1	6	7.0	11	7.8
	その他	7	12.7	3	3.5	10	7.1
回答者数		55	100.0	86	100.0	141	100.0

問 9		性別				合計	
		男		女		度数	%
		度数	%	度数	%		
地域の商店等の利用回数(週)	0	10	11.8%	10	8.5%	20	9.9%
	1	18	21.2%	18	15.3%	36	17.7%
	2	17	20.0%	21	17.8%	38	18.7%
	3	19	22.4%	29	24.6%	48	23.6%
	4	6	7.1%	15	12.7%	21	10.3%
	5	7	8.2%	12	10.2%	19	9.4%
	6	2	2.4%	6	5.1%	8	3.9%
	7	4	4.7%	7	5.9%	11	5.4%
	10	1	1.2%	0	.0%	1	.5%
	15	1	1.2%	0	.0%	1	.5%
合計		85	100.0%	118	100.0%	203	100.0%

問 1 0		性別				合計	
		男		女		度数	%
		度数	%	度数	%		
中央商店街の利用回数(月)	0	60	73.2%	78	66.7%	138	69.3%
	1	7	8.5%	15	12.8%	22	11.1%
	2	4	4.9%	9	7.7%	13	6.5%
	3	3	3.7%	4	3.4%	7	3.5%
	4	6	7.3%	4	3.4%	10	5.0%
	5	0	.0%	2	1.7%	2	1.0%
	10	0	.0%	2	1.7%	2	1.0%
	12	1	1.2%	1	.9%	2	1.0%
	20	1	1.2%	2	1.7%	3	1.5%
	合計		82	100.0%	117	100.0%	199

問 1 1		性別				合計	
		男		女		度数	%
		度数	%	度数	%		
大型商業施設の利用回数(月)	0	16	19.5%	11	9.1%	27	13.3%
	1	14	17.1%	33	27.3%	47	23.2%
	2	13	15.9%	16	13.2%	29	14.3%
	3	14	17.1%	18	14.9%	32	15.8%
	4	9	11.0%	10	8.3%	19	9.4%
	5	8	9.8%	6	5.0%	14	6.9%
	6	0	.0%	5	4.1%	5	2.5%
	7	2	2.4%	2	1.7%	4	2.0%
	8	2	2.4%	1	.8%	3	1.5%
	10	3	3.7%	9	7.4%	12	5.9%
	12	0	.0%	2	1.7%	2	1.0%
	14	0	.0%	1	.8%	1	.5%
	15	1	1.2%	1	.8%	2	1.0%
	16	0	.0%	1	.8%	1	.5%
	20	0	.0%	3	2.5%	3	1.5%
	25	0	.0%	1	.8%	1	.5%
	30	0	.0%	1	.8%	1	.5%
	合計		82	100.0%	121	100.0%	203

問 1 2		性別				合計	
		男		女		度数	%
		度数	%	度数	%		
大型商業施設利用の交通手段	徒歩のみ	1	1.2%	3	2.6%	4	2.0%
	自転車	1	1.2%	5	4.3%	6	3.0%
	バイク	3	3.6%	1	.9%	4	2.0%
	自家用車	72	86.7%	98	83.8%	170	85.0%
	バス	2	2.4%	1	.9%	3	1.5%
	J R	2	2.4%	4	3.4%	6	3.0%
	平成筑豊鉄道	1	1.2%	0	.0%	1	.5%
タクシー	1	1.2%	5	4.3%	6	3.0%	
合計		83	100.0%	117	100.0%	200	100.0%

問 1 2 (問 1 1 との関係)		大型商業施設利用の交通手段								合計
		徒歩のみ	自転車	バイク	自家用車	バス	J R	平成筑豊鉄道	タクシー	
大型商業施設の 利用回数 (月)	0	1	0	0	14	2	3	0	2	22
	1	0	2	0	40	0	2	1	1	46
	2	0	0	0	28	0	0	0	1	29
	3	0	1	1	29	0	0	0	1	32
	4	0	2	0	16	1	0	0	0	19
	5	1	0	1	12	0	0	0	0	14
	6	1	0	0	4	0	0	0	0	5
	7	0	1	0	3	0	0	0	0	4
	8	0	0	0	3	0	0	0	0	3
	10	1	0	1	9	0	1	0	0	12
	12	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	14	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	15	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	16	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	20	0	0	0	3	0	0	0	0	3
25	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
30	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
合計		4	6	3	169	3	6	1	5	197

問 1 3		性別				合計	
		男		女		度数	%
		度数	%	度数	%		
近所づきあい	よくお互いの家 を行き来する	3	3.5%	12	10.0%	15	7.3%
	たまにお互いの 家を行き来する	10	11.8%	13	10.8%	23	11.2%
	会えば世間話を する	29	34.1%	38	31.7%	67	32.7%
	会えば挨拶はす る	38	44.7%	51	42.5%	89	43.4%
	特に付き合いは ない	5	5.9%	6	5.0%	11	5.4%
合計		85	100.0%	120	100.0%	205	100.0%

問14	性別				合計		
	男		女		度数	%	
	度数	%	度数	%			
会えば話をする以上の付き合い	0	9	12.0%	19	18.6%	28	15.8%
	1	7	9.3%	7	6.9%	14	7.9%
	2	10	13.3%	19	18.6%	29	16.4%
	3	9	12.0%	20	19.6%	29	16.4%
	4	5	6.7%	4	3.9%	9	5.1%
	5	15	20.0%	11	10.8%	26	14.7%
	6	0	.0%	3	2.9%	3	1.7%
	7	2	2.7%	2	2.0%	4	2.3%
	8	0	.0%	2	2.0%	2	1.1%
	10	15	20.0%	11	10.8%	26	14.7%
	15	0	.0%	1	1.0%	1	.6%
	20	2	2.7%	3	2.9%	5	2.8%
	30	1	1.3%	0	.0%	1	.6%
	合計		75	100.0%	102	100.0%	177

問15～問23		性別				合計	
		男		女		度数	%
		度数	%	度数	%		
公共交通機関の満足度	たいへん満足	5	8.8%	0	0.0%	5	3.4%
	やや満足	4	7.0%	6	6.7%	10	6.8%
	どちらとも言えない	16	28.1%	17	18.9%	33	22.4%
	やや不満	15	26.3%	30	33.3%	45	30.6%
	たいへん不満	17	29.8%	37	41.1%	54	36.7%
合計		57	100.0%	90	100.0%	147	100.0%
買い物や日常生活の便利度	たいへん便利	15	17.6%	9	7.6%	24	11.8%
	やや便利	25	29.4%	39	32.8%	64	31.4%
	どちらとも言えない	17	20.0%	24	20.2%	41	20.1%
	やや不便	21	24.7%	31	26.1%	52	25.5%
	たいへん不便	7	8.2%	14	11.8%	21	10.3%
	わからない	0	0.0%	2	1.7%	2	1.0%
合計		85	100.0%	119	100.0%	204	100.0%
職業生活を送る上での便利度	たいへん便利	11	17.5%	9	10.5%	20	13.4%
	やや便利	15	23.8%	16	18.6%	31	20.8%
	どちらとも言えない	12	19.0%	26	30.2%	38	25.5%
	やや不便	18	28.6%	22	25.6%	40	26.8%
	たいへん不便	7	11.1%	13	15.1%	20	13.4%
合計		63	100.0%	86	100.0%	149	100.0%
教育機関の評価	たいへんよい	1	1.2%	0	0.0%	1	0.5%
	ややよい	9	11.1%	6	5.1%	15	7.6%
	どちらともいえない	26	32.1%	40	34.2%	66	33.3%
	ややよくない	11	13.6%	16	13.7%	27	13.6%
	たいへんよくない	6	7.4%	6	5.1%	12	6.1%
	わからない	28	34.6%	49	41.9%	77	38.9%
合計		81	100.0%	117	100.0%	198	100.0%
医療水準の評価	たいへんよい	5	5.9%	5	4.2%	10	4.9%
	ややよい	24	28.2%	20	16.8%	44	21.6%
	どちらともいえない	23	27.1%	51	42.9%	74	36.3%
	ややよくない	23	27.1%	26	21.8%	49	24.0%
	たいへんよくない	6	7.1%	13	10.9%	19	9.3%
	わからない	4	4.7%	4	3.4%	8	3.9%
合計		85	100.0%	119	100.0%	204	100.0%
福祉水準の満足度	たいへん満足	3	3.6%	0	0.0%	3	1.5%
	やや満足	8	9.5%	9	7.7%	17	8.5%
	どちらとも言えない	24	28.6%	47	40.2%	71	35.3%
	やや不満	16	19.0%	18	15.4%	34	16.9%
	たいへん不満	9	10.7%	10	8.5%	19	9.5%
	わからない	24	28.6%	33	28.2%	57	28.4%
合計		84	100.0%	117	100.0%	201	100.0%
子育て環境の満足度	たいへん満足	2	2.4%	1	0.9%	3	1.5%
	やや満足	9	11.0%	8	6.8%	17	8.5%
	どちらとも言えない	27	32.9%	42	35.9%	69	34.7%
	やや不満	18	22.0%	24	20.5%	42	21.1%
	たいへん不満	6	7.3%	12	10.3%	18	9.0%
	わからない	20	24.4%	30	25.6%	50	25.1%
合計		82	100.0%	117	100.0%	199	100.0%
行政や公共サービスの満足度	たいへん満足	2	2.4%	1	0.8%	3	1.5%
	やや満足	9	10.7%	6	5.0%	15	7.4%
	どちらとも言えない	30	35.7%	44	37.0%	74	36.5%
	やや不満	23	27.4%	37	31.1%	60	29.6%
	たいへん不満	13	15.5%	15	12.6%	28	13.8%
	わからない	7	8.3%	16	13.4%	23	11.3%
合計		84	100.0%	119	100.0%	203	100.0%
総合的満足度	たいへん満足	2	2.4%	2	1.7%	4	2.0%
	やや満足	24	28.2%	28	23.3%	52	25.4%
	どちらとも言えない	26	30.6%	29	24.2%	55	26.8%
	やや不満	22	25.9%	41	34.2%	63	30.7%
	たいへん不満	9	10.6%	15	12.5%	24	11.7%
	わからない	2	2.4%	5	4.2%	7	3.4%
合計		85	100.0%	120	100.0%	205	100.0%

問 2 3 (問 1 5 から問 2 2 までとの関係)		総合的満足度					合計	
		たいへん満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	たいへん不満		わからない
公共交通機関の満足度	たいへん満足	1	0	2	1	0	1	5
	やや満足	2	3	4	1	0	0	10
	どちらとも言えない	0	11	10	9	2	1	33
	やや不満	0	14	11	12	6	2	45
	たいへん不満	0	3	13	26	11	1	54
合計		3	31	40	49	19	5	147
買い物や日常生活の便利度	たいへん便利	4	12	3	2	1	2	24
	やや便利	0	19	22	19	2	2	64
	どちらとも言えない	0	11	17	12	1	0	41
	やや不便	0	9	12	19	10	2	52
	たいへん不便	0	1	0	10	9	1	21
	わからない	0	0	1	1	0	0	2
合計		4	52	55	63	23	7	204
職業生活を送る上での便利度	たいへん便利	3	12	3	1	0	1	20
	やや便利	0	8	12	8	1	2	31
	どちらとも言えない	0	6	12	17	3	0	38
	やや不便	0	4	10	22	4	0	40
	たいへん不便	0	0	5	4	11	0	20
合計		3	30	42	52	19	3	149
教育機関の評価	たいへんよい	0	1	0	0	0	0	1
	ややよい	2	8	3	1	1	0	15
	どちらともいえない	0	18	23	18	5	2	66
	ややよくない	0	2	4	19	2	0	27
	たいへんよくない	0	1	2	3	6	0	12
	わからない	2	20	21	19	10	5	77
合計		4	50	53	60	24	7	198
医療水準の評価	たいへんよい	2	2	2	1	2	1	10
	ややよい	2	20	11	7	1	3	44
	どちらともいえない	0	20	32	19	3	0	74
	ややよくない	0	8	6	28	7	0	49
	たいへんよくない	0	0	2	4	11	2	19
	わからない	0	2	2	4	0	0	8
合計		4	52	55	63	24	6	204
福祉水準の満足度	たいへん満足	1	0	1	0	1	0	3
	やや満足	1	12	3	0	1	0	17
	どちらとも言えない	0	17	25	24	5	0	71
	やや不満	0	5	7	17	5	0	34
	たいへん不満	0	0	2	7	9	1	19
	わからない	2	17	17	13	3	5	57
合計		4	51	55	61	24	6	201
子育て環境の満足度	たいへん満足	1	1	0	1	0	0	3
	やや満足	1	12	2	1	0	1	17
	どちらとも言えない	1	16	26	19	7	0	69
	やや不満	0	10	6	23	3	0	42
	たいへん不満	0	0	2	6	10	0	18
	わからない	1	12	17	11	4	5	50
合計		4	51	53	61	24	6	199
行政や公共サービスの満足度	たいへん満足	1	1	1	0	0	0	3
	やや満足	1	13	1	0	0	0	15
	どちらとも言えない	1	24	28	15	3	3	74
	やや不満	0	8	10	37	4	1	60
	たいへん不満	0	1	4	7	16	0	28
	わからない	1	4	11	3	1	3	23
合計		4	51	55	62	24	7	203

問 2 4		性別				合計	
		男		女		度数	%
		度数	%	度数	%		
在住年数	出生時より	39	43.3%	44	32.8%	83	37.1%
	5年以上離れたことがある	13	14.4%	10	7.5%	23	10.3%
	5年未満	3	3.3%	5	3.7%	8	3.6%
	5年～9年	0	.0%	7	5.2%	7	3.1%
	10年以上	35	38.9%	68	50.7%	103	46.0%
合計		90	100.0%	134	100.0%	224	100.0%
転入理由	仕事の事情	13	34.2%	9	11.4%	22	18.8%
	家族の事情	11	28.9%	11	13.9%	22	18.8%
	結婚・離婚・再婚	9	23.7%	43	54.4%	52	44.4%
	住宅の取得	4	10.5%	11	13.9%	15	12.8%
	その他	1	2.6%	5	6.3%	6	5.1%
合計		38	100.0%	79	100.0%	117	100.0%

問 2 5		性別				合計	
		男		女		度数	%
		度数	%	度数	%		
永住志向	住み続けたい	53	56.4%	67	49.6%	120	52.4%
	当分は住んでいたい	16	17.0%	15	11.1%	31	13.5%
	市内で転居したい	1	1.1%	3	2.2%	4	1.7%
	市外に転出したい	10	10.6%	18	13.3%	28	12.2%
	どちらとも言えない	9	9.6%	22	16.3%	31	13.5%
	わからない	5	5.3%	10	7.4%	15	6.6%
合計		94	100.0%	135	100.0%	229	100.0%

問 2 5 (1)		永住志向						合計
		住み続けたい	当分は住んでいたい	市内で転居したい	市外に転出したい	どちらとも言えない	わからない	
年齢	20～24歳	2	1	1	1	1	1	7
	25～34歳	5	5	1	7	2	2	22
	35～44歳	7	3	1	4	5	3	23
	45歳～54歳	16	8	0	5	8	4	41
	55～64歳	30	7	1	5	12	2	57
	65～74歳	40	6	0	4	3	1	54
	75歳以上	20	1	0	2	0	2	25
合計		120	31	4	28	31	15	229
住居	不祥	0	0	0	0	0	1	1
	持家(一戸建)	93	22	2	16	25	8	166
	持家(共同住宅)	1	1	0	2	0	0	4
	公営住宅、公団・公社の賃貸住宅	17	4	2	6	3	3	35
	民間賃貸住宅	7	3	0	1	3	1	15
	給与住宅	1	0	0	2	0	1	4
	その他	1	1	0	1	0	1	4
合計		120	31	4	28	31	15	229

問 2 5 (2)		永住志向						合計
		住み続けたい	当分は住んでいたい	市内で転居したい	市外に転出したい	どちらとも言えない	わからない	
公共交通機関の満足度	たいへん満足	4	1	0	0	0	0	5
	やや満足	6	3	0	0	0	1	10
	どちらとも言えない	16	2	1	3	3	8	33
	やや不満	24	9	0	4	7	1	45
	たいへん不満	23	2	2	12	12	3	54
合計		73	17	3	19	22	13	147
買い物や日常生活の便利度	たいへん便利	19	5	0	0	0	0	24
	やや便利	33	9	1	7	7	6	63
	どちらとも言えない	20	3	1	6	7	4	41
	やや不便	26	9	1	11	4	1	52
	たいへん不便	8	1	0	1	10	1	21
	わからない	1	0	0	0	0	1	2
合計		107	27	3	25	28	13	203
職業生活を送る上での便利度	たいへん便利	13	2	0	1	3	0	19
	やや便利	20	8	0	1	0	2	31
	どちらとも言えない	18	4	1	2	7	6	38
	やや不便	15	4	2	11	6	2	40
	たいへん不便	5	3	0	6	6	0	20
合計		71	21	3	21	22	10	148
教育機関の評価	たいへんよい	1	0	0	0	0	0	1
	ややよい	9	2	0	0	1	2	14
	どちらともいえない	38	7	1	6	8	6	66
	ややよくない	11	2	2	6	6	0	27
	たいへんよくない	4	1	0	5	2	0	12
	わからない	39	14	0	8	11	5	77
合計		102	26	3	25	28	13	197
医療水準の評価	たいへんよい	7	2	0	0	1	0	10
	ややよい	29	7	0	0	5	3	44
	どちらともいえない	34	12	1	8	11	8	74
	ややよくない	19	4	2	13	9	1	48
	たいへんよくない	14	1	0	2	2	0	19
	わからない	3	1	0	2	0	2	8
合計		106	27	3	25	28	14	203
福祉水準の満足度	たいへん満足	2	0	0	0	1	0	3
	やや満足	12	4	0	0	0	0	16
	どちらとも言えない	36	8	3	7	8	9	71
	やや不満	16	2	0	6	9	1	34
	たいへん不満	11	0	0	5	2	1	19
	わからない	27	13	0	7	7	3	57
合計		104	27	3	25	27	14	200
子育て環境の満足度	たいへん満足	3	0	0	0	0	0	3
	やや満足	13	2	0	0	1	1	17
	どちらとも言えない	33	10	1	8	8	9	69
	やや不満	19	5	2	8	6	1	41
	たいへん不満	7	1	0	5	5	0	18
	わからない	27	8	0	4	8	3	50
合計		102	26	3	25	28	14	198
行政や公共サービスの満足度	たいへん満足	2	1	0	0	0	0	3
	やや満足	13	1	0	0	1	0	15
	どちらとも言えない	36	15	0	5	9	8	73
	やや不満	29	6	2	14	8	1	60
	たいへん不満	14	1	1	5	7	0	28
	わからない	12	3	0	1	2	5	23
合計		106	27	3	25	27	14	202
総合的満足度	たいへん満足	4	0	0	0	0	0	4
	やや満足	37	7	0	0	4	3	51
	どちらとも言えない	27	13	1	2	6	6	55
	やや不満	22	5	2	19	11	4	63
	たいへん不満	10	2	0	4	7	1	24
	わからない	7	0	0	0	0	0	7
合計		107	27	3	25	28	14	204

フェイスシート		性別				合計	
		男		女		度数	%
		度数	%	度数	%		
年齢	20～24歳	3	3.2%	4	2.9%	7	3.0%
	25～34歳	5	5.3%	18	13.2%	23	10.0%
	35～44歳	6	6.4%	17	12.5%	23	10.0%
	45歳～54歳	18	19.1%	23	16.9%	41	17.8%
	55～64歳	22	23.4%	35	25.7%	57	24.8%
	65～74歳	28	29.8%	26	19.1%	54	23.5%
	75歳以上	12	12.8%	13	9.6%	25	10.9%
合計		94	100.0%	136	100.0%	230	100.0%
世帯員数	不祥	2	2.1%	2	1.5%	4	1.7%
	1	8	8.5%	17	12.5%	25	10.9%
	2	38	40.4%	49	36.0%	87	37.8%
	3	19	20.2%	27	19.9%	46	20.0%
	4	16	17.0%	19	14.0%	35	15.2%
	5	5	5.3%	12	8.8%	17	7.4%
	6	5	5.3%	6	4.4%	11	4.8%
	7	1	1.1%	2	1.5%	3	1.3%
	8	0	.0%	1	.7%	1	.4%
	9	0	.0%	1	.7%	1	.4%
合計		94	100.0%	136	100.0%	230	100.0%
続き柄	不祥	1	1.1%	5	3.7%	6	2.6%
	本人	76	80.9%	28	20.6%	104	45.2%
	配偶者	3	3.2%	84	61.8%	87	37.8%
	父母	3	3.2%	0	.0%	3	1.3%
	子	10	10.6%	17	12.5%	27	11.7%
	その他	1	1.1%	2	1.5%	3	1.3%
合計		94	100.0%	136	100.0%	230	100.0%
就業形態	不祥	1	1.1%	0	.0%	1	.4%
	事業主	11	11.7%	4	2.9%	15	6.5%
	家族従業員	0	.0%	11	8.1%	11	4.8%
	常勤職員	27	28.7%	26	19.1%	53	23.0%
	公務員	8	8.5%	3	2.2%	11	4.8%
	非常勤	4	4.3%	28	20.6%	32	13.9%
	主に家事	3	3.2%	34	25.0%	37	16.1%
	無職	40	42.6%	30	22.1%	70	30.4%
合計		94	100.0%	136	100.0%	230	100.0%
住居	不祥	0	.0%	1	.7%	1	.4%
	持家（一戸建）	75	79.8%	92	67.6%	167	72.6%
	持家（共同住宅）	3	3.2%	1	.7%	4	1.7%
	公営住宅、公団・公 社の賃貸住宅	8	8.5%	27	19.9%	35	15.2%
	民間賃貸住宅	5	5.3%	10	7.4%	15	6.5%
	給与住宅	1	1.1%	3	2.2%	4	1.7%
	その他	2	2.1%	2	1.5%	4	1.7%
	合計		94	100.0%	136	100.0%	230

Correlations

Descriptive Statistics

	Mean	Std. Deviation	N
バス停までの時間	7.27	5.406	187
駅までの時間	17.27	11.866	194
通勤・通学時間	24.85	23.652	88
地域の商店等の 利用回数(週)	2.88	2.107	203
中央商店街の利 用回数(月)	1.12	3.003	199
大型商業施設の 利用回数(月)	3.68	4.468	203
会えば話をする以 上の付き合い	4.47	4.645	177

Correlations

		バス停まで の時間	駅までの時間	通勤・通学時間	地域の商店 等の利用回 数(週)
バス停までの時間	Pearson Correlation Sig. (2-tailed) N	1 .080 187	.080 .311 163	-.015 .901 74	.079 .310 166
駅までの時間	Pearson Correlation Sig. (2-tailed) N	.080 .311 163	1 .175 194	.175 .141 72	-.144 .062 169
通勤・通学時間	Pearson Correlation Sig. (2-tailed) N	-.015 .901 74	.175 .141 72	1 .047 88	.047 .684 79
地域の商店等の 利用回数(週)	Pearson Correlation Sig. (2-tailed) N	.079 .310 166	-.144 .062 169	.047 .684 79	1 .047 203
中央商店街の利 用回数(月)	Pearson Correlation Sig. (2-tailed) N	.096 .224 162	-.025 .751 165	-.150 .189 78	.138 .053 196
大型商業施設の 利用回数(月)	Pearson Correlation Sig. (2-tailed) N	.013 .867 164	-.251** .001 169	-.027 .813 78	.194** .006 200
会えば話をする以 上の付き合い	Pearson Correlation Sig. (2-tailed) N	-.068 .417 143	-.024 .775 150	-.213 .088 65	.136 .074 174

Correlations

		中央商店街の 利用回数(月)	大型商業施 設の利用回 数(月)	会えば話を する以上の 付き合い
バス停までの時間	Pearson Correlation Sig. (2-tailed) N	.096 .224 162	.013 .867 164	-.068 .417 143
駅までの時間	Pearson Correlation Sig. (2-tailed) N	-.025 .751 165	-.251** .001 169	-.024 .775 150
通勤・通学時間	Pearson Correlation Sig. (2-tailed) N	-.150 .189 78	-.027 .813 78	-.213 .088 65
地域の商店等の 利用回数(週)	Pearson Correlation Sig. (2-tailed) N	.138 .053 196	.194** .006 200	.136 .074 174
中央商店街の利 用回数(月)	Pearson Correlation Sig. (2-tailed) N	1 .111 199	-.114 .111 198	.032 .675 171
大型商業施設の 利用回数(月)	Pearson Correlation Sig. (2-tailed) N	-.114 .111 198	1 .852 203	-.014 .852 175
会えば話をする以 上の付き合い	Pearson Correlation Sig. (2-tailed) N	.032 .675 171	-.014 .852 175	1 177

** . Correlation is significant at the 0.01 level (2-tailed).

B 使用した調査票

田川市民の地域生活における満足度に関する調査 2005年12月

問1 あなたが毎日の生活でよく使う交通手段は次のどれですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。(番号に○をつけてください。)

1. 利用しない(徒歩のみ) 2. 自転車 3. バイク 4. 自家用車 5. バス 6. JR 7. 平成筑豊鉄道
8. タクシー 9. その他 () *

問2 お宅から最寄りのバス停や駅(JR、平成筑豊鉄道)まで歩くと何分かかりますか。

(1) 最寄りのバス停までかかる時間

1. バス停まで()分 2. 近くにバス停がない *

(2) 最寄りの駅までかかる時間

1. 駅まで()分 2. 近くに駅がない *

<通勤または通学をされているかたに、うかがいます。それ以外のかたは問4へ進んでください>

問3 通勤・通学時間は片道で何分ですか。

1. ()分 2. 通勤・通学をしていない *

[補問] 通勤地または通学地は田川市内ですか、田川市外ですか。

1. 田川市内 2. 市外 3. 通勤・通学をしていない *

<すべてのかたに、うかがいます。>

問4 あなたがよく利用する公共の場についてお尋ねします。次にあげる場所で、過去1か月の間に1度でも利用したことがあるものはどれですか。田川市外にあるものも含めて、いくつでもお答えください。 *

1. 近所の広場・公園 2. 個人商店・コンビニ・スーパー 3. 書店
4. 銀行 5. 郵便局 6. 個人医院 7. 病院 8. デパート
9. 大型商業施設(メルクス、サンリブなど) 10. 娯楽施設(カラオケボックスなど)
11. 映画館・劇場 12. アスレチッククラブ 13. 公立体育館 14. テーマパーク
15. 鉄道 16. バス 17. 喫茶店 18. レストラン(食堂) 19. ホテル・旅館
20. 神社・寺・教会 21. 公立図書館 22. 公会堂・公民館
23. その他 ()

問5 今あげた場所の中で、あなたがいつもよく利用するのはどれですか。3つまでお答えください。

- () () () *

問6 ふだん、通勤や通学以外でどのような目的で外出されますか。当てはまるものすべてをお答えください。

1. 買い物 2. 散歩 3. 病院 4. 遊び 5. 習い事 6. ボランティア *
7. 学校の送り迎え 8. 子どもや孫に会いに行く 9. その他 ()

<あなたが住まいの地域（小学校区程度の範囲）についておうかがいします。>

問7 田川市内のこの地域（小学校区程度の範囲）に住んでおられて、便利だと思われることにはどのようなことがありますか。当てはまるものすべてをお答えください。 *

1. 買い物 2. 通学 3. 通勤 4. 商業施設の利用 5. 娯楽施設の利用
6. 交通の便 7. 公園の利用 8. 人付き合い 9. その他（ ）
10. 特にない

問8 田川市内のこの地域（小学校区程度の範囲）に住んでおられて、不便に感じられことにはどのようなことがありますか。当てはまるものすべてをお答えください。 *

1. 買い物 2. 通学 3. 通勤 4. 商業施設の利用 5. 娯楽施設の利用
6. 交通の便 7. 公園の利用 8. 人付き合い 9. その他（ ）
10. 特にない

問9 田川市内のこの地域（小学校区の範囲）にある商店やコンビニ、スーパーをどの程度利用しますか。平均して週に何回利用するかをお答えください。

週に（ ）回 *

問10 田川市の中心部にある商店街を月に何回程度利用しますか。

月に（ ）回 <全く利用しない場合は0回とお答えください。> *

主に利用する商店街の名前（ ） *

問11 大型商業施設（メルクス、サンリブなど）を月に何回程度利用しますか。ここでは、田川市外にあるものも含めてお答えください。

月に（ ）回 <全く利用しない場合は0回とお答えください。> *

主に利用する大型商業施設（ ） *

問12 大型商業施設へ出かけるときの交通手段は次のどれですか。2つ以上の交通手段を用いる場合は、距離の長いものを1つお答えください。

1. 利用しない（徒歩のみ） 2. 自転車 3. バイク 4. 自家用車 5. バス 6. JR 7. 平成筑豊鉄道
8. タクシー 9. その他（ ） *

<次に、あなたの、地域での近所づきあいのことなどについておたずねいたします。>

問13 ふだん近所付き合いをどの程度していますか。

1. よくお互いの家を行き来する 2. たまにお互いの家を行き来する 3. 会えば世間話をする 4. 会えば挨拶はする 5. 特につきあいはない *

問14 会えば話をする以上の付き合いをしている近所の人は何人ぐらいいますか。

（ ）人 *

<次に、田川市での毎日の生活についておたずねいたします。>

問15 田川市の公共交通機関（鉄道やバスなど）についてどのように感じていますか。次の中からお答えください。

1. たいへん満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. たいへん不満
6. 使う必要がないので答えられない

*

問16 田川市は、毎日の買い物や日常生活の面で便利ですか。

1. たいへん便利
2. やや便利
3. どちらともいえない
4. やや不便
5. たいへん不便
6. わからない

*

問17 田川市に住んでいることは、あなたが職業生活をおくるうえで便利ですか。

1. たいへん便利
2. やや便利
3. どちらともいえない
4. やや不便
5. たいへん不便
6. 当てはまらないので答えられない

*

問18 田川市の教育機関（学校や塾など）についてどのように感じていますか。

1. たいへんよい
2. ややよい
3. どちらともいえない
4. ややよくない
5. たいへんよくない
6. わからない

*

問19 田川市の医療水準（病院の数や受診するときの便利さについて）についてどのように感じていますか。

1. たいへんよい
2. ややよい
3. どちらともいえない
4. ややよくない
5. たいへんよくない
6. わからない

*

問20 田川市の福祉水準（社会福祉関係施設の数など）についてどのように感じていますか。

1. たいへん満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. たいへん不満
6. わからない

*

問21 田川市の、子育てを行う環境についてどのように感じていますか。

1. たいへん満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. たいへん不満
6. わからない

*

問22 田川市の行政や公共サービスについてどのように感じていますか。

1. たいへん満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. たいへん不満
6. わからない

*

問23 総合的にみた田川市における生活についてどのように感じていますか。

1. たいへん満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. たいへん不満
6. わからない

*

(次の頁へお進みください。)

問 24 あなたは、田川市に何年住んでいますか。当てはまる番号に○をつけてください。

(田川市生まれで一時的に離れたことのある人は、それが5年未満であれば、(1)「生まれてからずっと」としてお答えください。) (3)～(5)のかたは、補問にお答えください。 *

- (1) 生まれてからずっと田川市に住んでいる →問 25 へ
- (2) 5年以上離れたことがあるが、田川市の生まれ →問 25 へ
- (3) 5年未満 →補問へ
- (4) 5年～9年 →補問へ
- (5) 10年以上 →補問へ

[補問] あなたが田川市に住みはじめた最大の理由を、次のうちから一つだけお選びください。

- 1. 仕事の事情 2. 家族の事情 3. 結婚・離婚・再婚 4. 住宅の取得 5. その他 *

<すべてのかたに、うかがいます。>

問 25 あなたはずっと田川市に住み続けたいですか？ 次の中から当てはまるものひとつをお答えください。 *

- 1.住み続けたい 2.当分は住んでいたい 3.市内で転居したい 4.市外に転出したい
- 5.どちらとも言えない 6.わからない

[補問] あなたがそのようにお考えになるのはなぜですか。理由の主なものを3つあげてください。

- 1. () *
- 2. () *
- 3. () *

最後にあなた自身についておうかがいいたします。当てはまるものに○をつけてください。

F 1 あなたの性別は？ 1. 男 2. 女 *

F 2 あなたの年齢は？
1. 20歳未満 2. 20～24歳 3. 25～34歳 4. 35～44歳 *

5. 45～54歳 6. 55～64歳 7. 65～74歳 8. 75歳以上

F 3 あなたの属する世帯(所帯)の人数は何人ですか。あなたも含めてお答えください。
()人 *

F 4 世帯主との、あなたの続き柄は？
1.世帯主本人 2.世帯主の妻(配偶者) 3.世帯主の父母 4.世帯主の子 5.その他 *

F 5 あなたは現在働いていますか？
1. 事業主 2. 家族従業員 3. 企業等の常勤職員 *

4. 公務員 5. 非常勤(日給・パート・アルバイトを含む)

6. 主として家事 7. 学生 8. 仕事はしていない

F 6 あなたが属する世帯のお住まいの形態は？
1.持ち家(1戸建て) 2.持ち家(共同住宅、マンションなど) *

3.公営住宅、公団・公社の賃貸住宅 4.民間の賃貸住宅

5.給与住宅(社宅・社員寮など) 6.その他

ご協力どうもありがとうございました。

